新京日日新聞
夕刊 九月六日

本紙一部五錢 定價一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
編輯人 十河榮忠 發行人 松本勇 印刷人 水越内之介

東部戰線一帶に亘り 我軍曉の總攻撃開始

空陸海呼應、砲聲全市を壓す

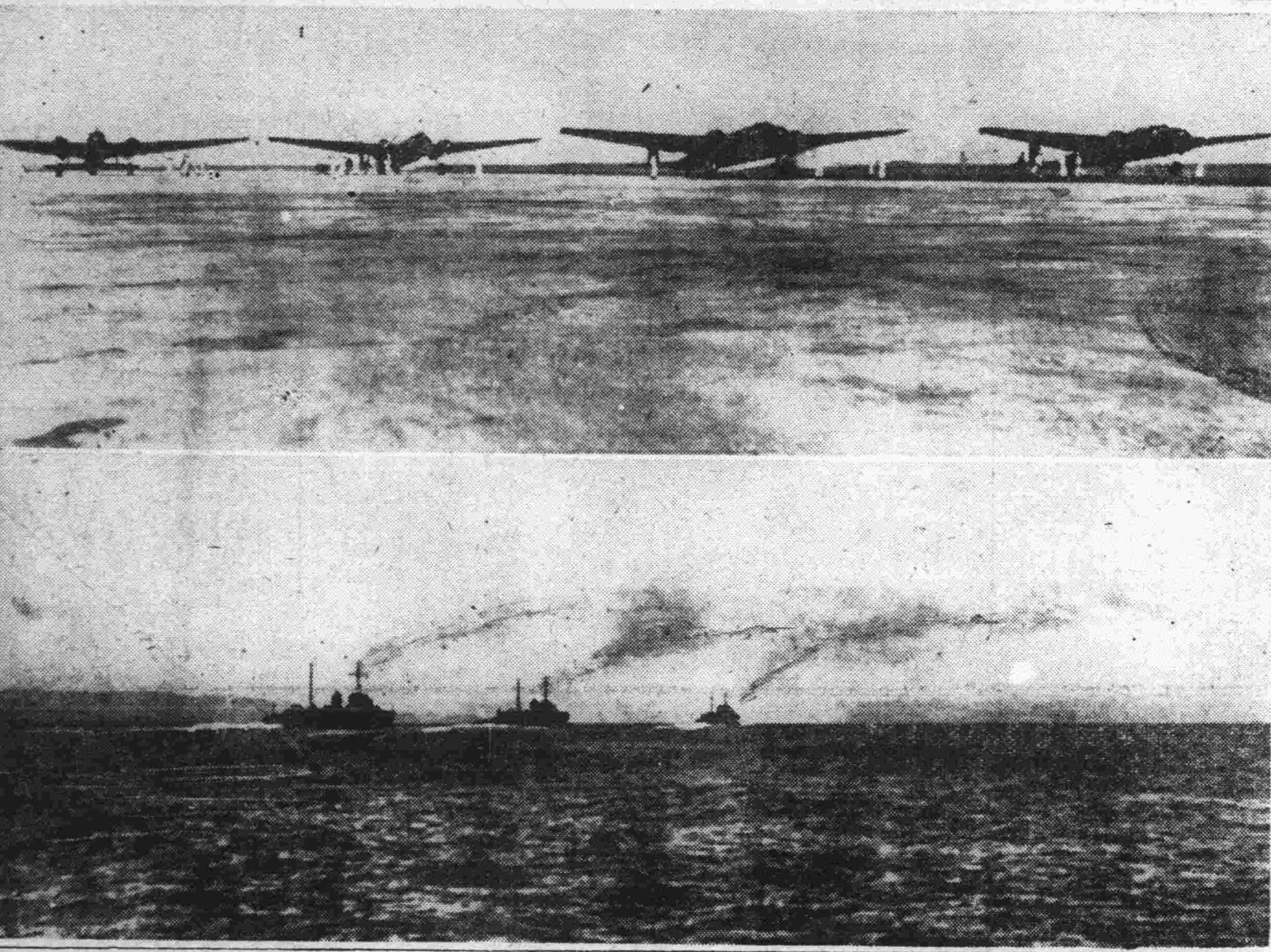
【上海六日發國通】わが軍は六日午前六時を期し租界東部戰線一帶より敵の大部隊の蟠居する市政府方面に向つて空、陸、海相呼應して一齊に曉の總攻撃を開始した、江上に碇泊せる艦艇よりの砲撃とわが空軍の爆撃及び陸軍〇砲隊の援護の下に勇敢無比のわが陸軍ならびに陸戰隊は前線に猛進を開始し、その銃砲聲は殷々として薄明の全上海を壓し壯烈なる拂曉戰が展開されてゐる

【上海六日發國通】＝午前七時＝東部戰線の銃砲聲は益々猛烈となりつゝある

軍行路の敵に猛砲撃開始

【上海六日發國通】第〇艦隊報道班六日午前九時發表＝今早朝よりわが海軍陸戰隊は海軍航空隊および江上艦砲の砲撃、爆撃の支援下に陸軍部隊と協力、軍行路北方々面の敵に對し猛烈な砲撃を開始せり

虬江碼頭附近の敵陣に火災

【上海六日發國通】虬江碼頭附近の敵陣地はわが砲撃により火災を起しつゝあり

寶山縣城に日章旗飜る

淺間、天谷兩部隊の連絡成る

【上海六日發國通】〇〇報道部五日午後十時發表＝二日呉淞砲臺西方地區の敵を撃破し朱家宅北方部落より朱家宅、曹家濱を經て塘クリークにわたる線に進出せる鷹森部隊は四日午後四時より〇〇部隊の密接なる協力のもとに金家宅、曹家濱附近の敵に對し攻撃を加へたるに敵は頑強にして激戰夜に入り敵兵一部の逆襲あり、五日朝同部隊は寶山縣城南側並びに金家宅附近の敵に對し砲火力を最高度に發揚し攻撃を遂行せるに、たまたま淺間部隊の北方より寶山西方地區に進出せるを鷹森部隊左翼方面に天谷部隊の南方より砲撃前進を開始せることにより同日正午頃金家宅附近の敵陣地を突破し遂に寶山縣城に日章旗を飜したり、これにより遂に淺間部隊と天谷部隊の連絡を完成するに至れり

王家宅トーチカを攻撃

【上海六日發國通】四日〇〇に上陸した陸軍〇〇部隊飯田部隊は五日午後十時虹口、痛々として通過租界東部戰線に向つて行動を開始し、夜半滬抗大學の北方クリーク附近にある神經部隊の最前線陣地に集結、勇敢にも敵列架橋を了するや間髪を入れずクリークを强行突破し、六日午前六時いよいよ前面の金家宅南王家宅トーチカに據る敵に對し海軍柴北部隊と緊密なる連絡をとり拂曉攻撃を開始した、これよりさき午前四時半頃より同方面の江上に待機してゐた軍艦〇〇及びわが砲兵隊も制壓射撃を開始し東部戰線はいよいよ拂曉より壯烈なる激戰が展開されてゐる

敵彈を左眼にうけ 屈せず敵狀偵察

豪膽隻眼の野村少尉

【上海六日發國通】わが陸戰隊古賀部隊の機銃〇隊長として縱横の活躍を續けてゐる野村盛弘少尉は四日も閘北虬江路の戰ひに參加兵を指揮して機銃の猛射を浴せかけ敵陣に多大の損害を與へたが、陣頭に立つた野村少尉は双眼鏡を眼にあてゝ敵狀偵察中敵の一彈突如双眼鏡に命中、左側プリズムをぶちこはし左眼に重傷を負つた、同少尉は一旦倒れたが豪膽にもすくりと起き上り双眼鏡を右眼にあて一歩も陣地を退かうともしないので傍にあつた部下がたまりかねて引きとめ陸戰隊病院に運んだ、隊長のこの勇猛さに隊員一同は感激勇奮した

香港在留邦人引揚ぐ

【香港六日發國通】香港在留邦人最初の引揚者は男子六十七名、女子百二十七名、子供九十三名で、五日正午當地出帆の商船廣東丸で歸國の途についた

支那商人日貨不買

【香港六日發國通】當地支那商人は北支事變發生以來日本商人との取引を停止してゐたが、さらにこれを徹底するため數日間秘密裡に會合協議の結果、來る九日から正式に日貨不買を實行することゝなつた、五日までの取引契約解消額は二百萬弗以上と見られてゐる

親ソ派 盛んに暗躍

【上海五日發國通】日支交戰の最中に發表されたソ支不可侵條約の背後にある種の密約が存在するであらうことは豫想され、頗る注目されてゐたが、某方面の情報によれば、目下南京に於て馮玉祥とソ聯大使館附武官レーピン少將との間に攻守同盟に類した密約の折衝が行はれてゐると傳へられてゐる、みぎ密約は

一、支那の國内にソヴィエト地區を正式承認す
一、ソ聯の支那中央軍援助
一、支那の抗日戰繼續
一、對日共同作戰
一、支那はソ聯の同意なくして日本と媾和せず

などの項目が含まれてゐる模樣であるが、果して南京政府とソ聯政府との間の正式折衝なるや否やは不明で、寧ろ抗日戰を機會に暗躍せる馮玉祥等親ソ派の策動と解され、レーピン少將との間にある程度の諒解を得たるのちこれを國民政府に押しつけんとするのではないかといはれてゐる

堂々我海軍の威容!

空襲決行の我海軍航空隊と〇〇方面警戒中の我艦艇（海軍省貸下げ）

戰局に對處すべき 新諮問機關設置

首相、議會終了を俟ち着手

【東京國通】支那事變の擴大と共に戰時に對處すべき内閣の强化については過般來近衛首相もその必要を認め周知を蒐めて擧國一致體制を整備する意向を懷いてゐたが、衆議院本會議における片山哲、中野正剛兩氏の質問に對し近衛首相は左の如く所信を述べ今議會終了とゝもに强力なる諮問機關を設置する方針を明かにした、首相の言明は重大なる時局を突破するためひとり外交のみならず經濟、産業各方面に亘りあらゆる知識を吸收し各方面の協力援助により時局に對處したいと考へてゐるといふにあり、その組織方法はなほ今後の考究に俟つことになつてゐるが、從來の大調査會、大審議會が主として政治勢力の糾合を目指してゐたに對し、近衛首相は專ら首相自身のブレーン・トラストたらしめんとしその組織にあたつて新機軸を出すことに苦慮してゐる、なほ右に伴ふ經費は追加豫算として要求しない方針であり、大體第二豫備金より支出するものと見られてゐる

支那在留邦人の 引揚げ應急扶助費計上

【東京國通】支那事變のため遂に引揚げるのやむなきに至つた本邦居留民救護と、右居留民が内地歸還後の應急措置に關し政府は外務、内務兩省所管經費を昭和十二年度豫算に計上した、即ち外務省所管においては北支事件費追加九百十五萬圓の内居留民に救護費として七十六萬圓を計上し支那居留邦人の引揚げに對す

内務省所管としては支那引揚げ居留民應急扶助に要する經費として四十萬圓を計上してゐるが右外務省分は主として支那居留邦人の引揚げに對する扶助に要する經費で内務省分は右居留民の内地歸還後の應急扶助に關するものである

衆院豫算總會

【東京國通】衆議院では六日午前九時から豫算總會を開き二十億六千萬圓に上る軍事費の審議に入つたが、當日をもつて質問を打切り七日午前中に各派の態度を決定し同日午後の本會議に緊急上程、可決の上即日貴族院に送附す〻豫定である

精神總動員 全國的に實施

【東京國通】支那事變に關し擧國一致の體制整備のため政府はかねて國民精神總動員計畫を立案中であつたが、臨時議會終了後速かに其實現を期することゝなり、まづ來る十一日日比谷公會堂において近衛首相はじめ關係閣僚の演説會を開催國民に呼びかけることゝなつた、國民精神總動員計畫はこれを皮切りとして全國的に實施される

固安の支那軍 募兵中

【長辛店五日發國通】信ずべき情報によれば、〇〇部隊の進撃に怯えた固安附近の支那軍は目下盛んに募兵を行つてゐるとのことである

在上海朝鮮人會 皇軍慰問の獻金

【上海五日發國通】皇軍の活動に對し上海在留朝鮮人は非常に感激、五日在留朝鮮人會より銀百四十一弗を皇軍慰問にと陸軍武官室に屆け來つたので、直ちに陸軍省恤兵部宛手續きをとつた

松岡總裁東上

【奉天五日】五日奉天に一泊した松岡總裁は八辻秘書を帯同六日午前八時五十分奉天飛行場發日滿連絡飛行機で一路東上した

大津内務局長官

大津内務局長官は甘珠爾廟祭出席を兼ねて興安北省方面視察のため六日午前八時廿分發列車にて出發した

薄田次長北滿視察

薄田治安部次長は牡丹江三江省方面の初度巡視のため約十日間の豫定を以て七日午後零時新京を出發することに決定

人事往來

着京

▲六車修氏（松竹映畫）五日 東京ヤマトホテル
▲坂井隆造氏（台灣總督府鐵道交通局）同
▲佐藤敏人氏（外務省）同
▲澤田清氏（國際運輸）同
▲田中護氏（九州帝大教授）同
▲内田徹氏（帝國海上保險）同向陽ホテル
▲藤原時治氏（會社員）同
▲大伴二郎氏（官吏）同國際ホテル
▲宗像義人氏（同）同
▲後藤春吉氏（同）同
▲今村知光氏（木材商）同蓬莱ホテル
▲古武常一氏（同）同
▲佐々木信一氏（商業）同
▲山本茂氏（辯護士）同
▲關口興藏氏（官吏）同
▲今井昭慶氏（同）同富士屋
▲武藤廣人氏（商業）同
▲川合一弘氏（同）同
▲武内一郎氏（同）同
▲横内鐘男氏（安東林務署長）同新京ホテル

出發

▲原田耕作氏 五日發ハルビンへ
▲平石貞雄氏 同
▲久保田軍種氏 同
▲矢追紀次氏 同
▲大磯義勇氏 同
▲久保小市氏 同奉天へ
▲高井恒則氏 同
▲黒田啓氏 同
▲川原與三吉氏 同
▲橋田駒治氏 同安東へ
▲佐戸正人氏 同
▲倉地綱五郎氏 同チチハルへ
▲齋藤固氏 同大連へ
▲末原二莊氏 同
▲竹野良男氏 同吉林へ
▲宮副義智氏 同
▲田中保郎氏 同
▲十谷要壽氏 同ハルビンへ
▲飯島通次郎氏 同
▲三木原駿義氏 同
▲八尾道之助氏 同
▲中園秀雄氏 同安東へ
▲福地家久氏 同
▲迫田福馬氏 同朝陽鎭へ
▲坂本清三氏 同奉天へ
▲松井照二氏 同
▲三谷清氏 同
▲川口芳造氏 同
▲越木賢三氏 同
▲渡邊恒七氏 同
▲足立美勝英氏 同
▲藪田貞次郎氏 同
▲山中彬平氏 同

その日〳〵

□その沿岸の大部分を遮斷されては、いかに地大物博を誇つても甲斐無からう
□否それより、海關收入の墜落こそ想ひ設けぬエア・ポケットであらう
□關を得て海を望めず、すなはち關海線の經濟的破綻といふ事にもなる
□辛うじて支へる支那經濟の水準、内外から來る困難にいつまで耐へ得るか
□秋季淸潔檢査はじまる、やがて來る長い冬に備への用意先づこれから

浮浪者にパンを

市中淨化に一齊檢索を行ひ

救濟院で仕事を斡旋

首都警察廳保安科では國都の明朗化を期するとともに防犯並びに傳染病豫防の見地から近く管下各警察署を督勵して最近著しく増加した街の浮浪者群の一齊取締りを斷行することゝなつた、檢束したこれら浮浪者に對しては特別市公署と協議の結果救濟院に收容の上適當の仕事に就かしめることゝなつてゐるが、この一齊取締りによつて國都の街は大いに淨化されるものと見られてゐる

吠ゆる傳令にも

慰問品を送つてやりたい

軍犬協會支部で發案

暴戻支那軍膺懲の師を進めて以來第一線出動の皇軍將兵に伍し警備に傳令に索敵に人後におちぬ活動をなしつゝある物言はぬ勇士軍用犬に對しては未だ慰問の方法を講ぜられてゐないのに鑑み滿洲軍用犬協會新京支部では出動軍用犬に慰問品を送ることになり普く慰問を募集することになつた、希望者は會員と否とに拘らず振つて應募されるやう望んでゐる

『愛犬舍』新設

飼料を安く供給する

時局柄新京にも軍用犬は激増し愛犬家も増して來たが各愛犬家はいづれも飼料に相當手數を要し不經濟な點が多々あるので今回特別市崇智胡同二百二號に滿洲軍用犬協會新京支部、立石家畜病院の後援のもとに犬の食料品店「愛犬舍」を設け、内臓物百匁十八錢高粱一年二圓三十錢その他粟小米などを販賣し、病氣衞生その他の相談にも應ずると

皇軍の武運を祈る

切なる御守札

金剛寺、經王寺から一萬個祈願して軍に贈る

高野山金剛寺、日蓮宗經王寺の兩寺ではかねて北支の將士に贈る皇軍將士武運長久御守護札を内地に注文してゐたが

白衣の勇士を光照師が慰問

皇軍慰問のため來京した西本願寺法主大谷光照師は六日午前八時から神社忠靈塔參拜を終へ九時に關東軍を訪れて親しく植田軍司令官を慰問した後同十一時四十分に陸軍病院に向ひ白衣の勇士等を病床に懇に見舞ひ正午辭去した【寫眞は陸軍病院で白衣の勇士を見舞ふ大谷師】

五日漸く一萬個が到着したので七日から十三日まで毎朝六時から各寺院で武運長久祈禱祭を營み、一週間後これ等お守りを關東軍、治安部に送附して第一線將兵に送附の手續きをとる豫定であるが市民は宗旨の何宗を問はず朝六時からの祈禱祭に振つて參詣されたいと

小山田氏の警務司葬儀

錦州で殉職の警務司特務科小山田事務官の警務司葬は六日午後三時より祝町太子堂に於て海田次長、澁谷司長以下治安部關係者多數列席して盛大に擧行された

北支前線を語る

全滿記者聯盟代表の講演會

あす西廣場倶樂部で

曩に全滿記者聯盟を代表して北支に赴き第一線に活躍中の皇軍慰問の使命を了へ歸來した滿洲弘報協會理事長高柳保太郎、滿洲日日新聞社長村田懿麿、大同報主幹大石智郎、滿洲國通信社編輯局次長大西秀治四氏の報告講演會はいよ〳〵明七日午後六時半から市内西廣場滿鐵社員倶樂部で第一日を開催する事となつたが

入場は無料、尚滿洲映畫協會の撮影した支那事變ニュース映畫第一輯から最近到着した第七輯までを上映する、尚第二日八日は同時刻から特別市大經路小學校で滿人側に對する講演を行ひ第一日同様支那事變ニュース映畫を觀覽せしむることゝなつた

因に右報告講演會の演題は次の如く決定した

一、開會の辭　滿洲國通信社長　森田久

一、日支血戰を觀る　大西秀治

一、北支所見　村田懿麿

一、今次事變の前途を思ふ　高柳保太郎

橫領外交員

千葉縣生れ永樂町一丁目一八靴商大長洋行外交員鈴木義良（二八）は同店勤務中五月下旬より八月上旬に亘る間得意先十數軒より約二百圓を集金橫領して遊興に費消し發覺を恐れて一時姿をくらましてゐたが

五日午後八時頃大長洋行に舞戻つたところを新京署岩田刑事が逮捕目下取調べ中である

鐵泥棒

王刑事に捕る

特別市長春大街二百八號政記公司鐵材倉庫の中からハンダ十貫、瓦斯罐鋁七十ダース（時價百八十圓）の盜難事件があり犯人嚴探中、五日午後四時ごろ長通路警察署王刑事が長通大街を徘徊中の眞犯人を逮捕した

山東省生れ長春大街萬生成建築公司職工王夫榮（三十六）で四日午後一時三十分ごろ倉庫番が晝寢してゐる隙に倉庫内に侵入前記鐵を盜み出しその足で西三馬路金物商福文久にハンダ十貫を十一圓で賣却したことから足がつきを刑事の炯眼に逮捕されたもの

基本財產問題

市場建築起債等に就き協議

市公署自治委員會

特別市公署では六日午後一時から同署會議室に第四十六回自治委員會を開催、主要議題として基本財產に關する件並びに市場建設に關する起債の件につき審議を遂げた

秋の風情を滿喫

遊覽バスで五日試乘會

行樂日和に惠まれて國都遊覽バスは日々多數の觀光客で賑つてゐるが五日の日曜日には交通會社で關東軍將校の家族を招待、午後一時半から市內遊覽を行つたが東條參謀長令息、稻村新聞班長、長友副官等多數參加して秋酣の國都の風情滿喫して一同大喜びであつた

大長靴鞄店員

獻金を寄託

▲市內永樂町一丁目の大長靴鞄店店員一同から五日夜金四圓を獻金したしと本社に寄託して來た

不正麻雀又やる

營業を停止や科料處分す

新京署保安係ではかねて麻雀界の淨化廓淸を期して嚴重取締り曩に銀座倶樂部の賭麻雀を摘發して十日間營業停止の嚴罰に附したが

またしても五日入舟町三丁目三三笑倶樂部（經營主福田實）に於て賭麻雀を同町二丁目三一連風莊倶樂部（經營主古莊一衞）は無許可でカップ爭奪競技會を開催しつゝある不正を摘發、六日兩者を同署に召喚戒告を與へて科料十圓に處した尚麻雀業者中に於ては客吸引策として無許可で種々なる名目を附し競技會を開催するものもあり當局はこれに對し今後も發見次第嚴罰方針臨み徹底的に不正業者を撲滅するの方針である

故藤井中將

悲しき凱旋

去る八月二十一日西部國境の華と散つた靖安軍司令故藤井中將の遺骨は佐藤上尉に守られて五日午前五時奉天驛に悲しい凱旋をなした、なほ葬儀は來る十日午後二時より奉天の國軍司令部において盛大に擧行される

危いッ不良牛乳

新京牧場が不正乳を配達して

當局衞生係で摘發

新京署衞生係では市民の保健衞生に密接な關係を持つ管內の牛乳販賣については毎日の如くその良否を檢査し萬全を期しつゝあるが、六日午前八頃特別市寛城子新京牧場立藏擧（三三）が無許可で殺菌せざる牛乳を三笠町方面にて販賣配達せるを發見、直ちに取押ると共にこの不正行爲に對し嚴重處分する方針であるが、尙爾來附屬地に於て當局の許可の下に牛乳の販賣をなしてゐるものは三宅牧場と加藤牧場の二軒であり他に販賣をなすものは當局に於て不正業者と見なしてゐるもので市民に於ても充分の警戒を要望して

又奈曼旗杏樹哈に

ペスト十七名

防疫看視所防止に必死

秋冷の氣候に入つて全滿のペストは少しも衰へを見せず興安西省奈曼旗より六日民生部防疫科に達した報告によれば同旗の杏樹哈（戶數三十三戶人口二百三十三名の部落）では八月十九日患者發生以來九月一日までに死亡者十七名（男十一女六）を出し、同地防疫看視所においては發生家族ならびに發生の虞れある者百六名を隔離して檢病調査ならびに防疫豫防注射をなしペストの蔓延防止に必死の活動を續けてゐる

豫想許さぬ球戰

第一回軟式庭球選手權大會

十二日のプロ決まる

既報、新京軟式庭球聯盟主催、滿洲國體育聯盟及び新京體育聯盟後援の第一回選手權大會を目睫に控へ各選手共に猛練習を續けてゐるが、春季選手權大會にて見事選手權を獲得し一躍新京球界のナンバーワンを以て自他共に許された工藤井崎組が果して最も權威ある本大會に再び榮冠をかち得べき?其後の躍進著しき興銀向井組あり、引田後衞の新入社を得て益々活氣づいて來た、電業に尾根山組、而して前衞同志の世帶ではあるが試合の駈引きに老練な藤澤、梅原組等々あり秋季競馬のそれならで、此間何人の手に國務總理杯が授けられるか最も興味ある問題であらう

更に電々方面を窺つて見ると引田を拔かれて多少の寂寞感はありと雖も、選手に惠まれてゐる同會社として前後衞の組合せを如何に編成するか此點が注目すべきで、顧みて長與平野組と雖も春季大會の轍を再び踏むやうなこともあるまいし、後衞の當り一つではあらう、滿鐵陣營は何時の場合でも弱さうで強いネバリを見せてゐるチームだけに此場合豫測を許さず殊に中村仁君に對するに後衞の配合よろしきを得ること、アクッ後衞の前衞如何に依つては侮り難きものがある、かくて十二日の西公園コートは百有餘の各選手を網羅して本年掉尾の球界をいやが上にも飾り立てることであらう、尙は當日の式順及役員は次の通りであると

一、役員選手入場午前九時（時間嚴守）一、開會の辭（委員長）一、皇宮遙拜一、會長訓示一、審判長試合上の注意一、選手宣誓一、記念撮影一、試合開始一、試合終了一、優勝杯授與一、閉會の辭（委員長）一、萬歲三唱

大會役員

▲會長關屋悌藏、▲副會長菅野斌、▲委員長鯉沼兵士郎、▲總務委員長加藤金保、麻生逸、國友正行、梅澤節治、▲審判委員長岩瀨豪次郎、谷幸市、石部一雄、山口義雄、豐島男橋良也、菊池仁、本田淸、藤澤七、平野、梅原、長與文亮四、工藤仲二、▲進行委員長中村仁、谷岡郁、尾根山富三郎、原田健作、中川數馬、井崎秀輔

鐵道警備員

募集要綱

各鐵路局で

伸び行く滿洲鐵路を護る日系鐵道警備員が最近著しく拂底してゐるので、鐵道總局では全滿各地から奉天局に百五十名その他各鐵道總局に五十名づゝを募集することゝなつた

▲有資格者は年齡廿七歲以下、陸海軍除隊者および警察官の前歷あるもの

▲志願手續は新京滿鐵職業紹介所、大連鄕軍聯合分會事務所、哈爾濱、齊々哈爾奉天は各部隊本部內在鄕軍人職業輔導部、その他の在滿各地では鄕軍分會事務所で取扱ふ

詩吟會

十二日軍病院で慰安劍舞を

非常時銃後の精神作興に資するため華々しく活躍を續けてゐる新京詩吟會は來る十九日新京在鄕軍人聯合會主催『滿洲の夕べ』に出場することになつたがそれに先立ち十二日午後一時から新京陸軍病院を訪問して會員の詩吟劍舞に傷病將兵を慰問する事になつた

公休日に總動員し

六日朝の草刈

宮廷府用地中央五百坪餘

官吏消費組合員が

星野長官の提唱に依る草刈り奉仕に就いては頗る全般的にショックを與へた模樣であるが、更に之が自發的に人知れず奉仕を行つた組がある

新京滿洲國官吏消費組合では六日全員公休日となつてゐるのを幸ひ、全員岩田幹事長を筆頭に從業職員、給仕、賣子、女子從業員三十余名も加はり、總動員百五六十名で六日午前六時より朝露を踏んで宮廷府用地中央五百坪余を十時頃迄に刈り上げて解散した

滿鐵辭令

（地方部）

新京醫院醫員　廣中一夫

願に依り本職を免す（八月十九日）

新京醫院醫員　星　清綱

瓦房店醫院醫長を命す

吉林東洋醫院醫員　岡本義英

新京醫院醫員を命す（八月三十一日）

（奉天鐵事）

新京列車區列車助役　平田軍二郎

新城子驛長を命す（九月二日）

新京署異動

新京署左記二警部補に對して四日付で異動の發令があつた

領事館警察署（警務係）勤務ヲ命ス　警部補　井田宗祥

歸署ヲ命ス　警部補　藤野忠義

あす（九月七日）

▲祀孔秋祭

▲秋季淸潔檢査、東五條（石碑嶺を含む）大和通、富士町各派出所管內

▲土星會洋畫展、三中井

▲準硬式野球申込締切、三協運動具店宛

▲秋季第二次競馬第八日最終

▲北支皇軍慰問使講演會午後六時半、西廣場滿鐵倶樂部

【今晩の主なる演藝放送】

▲八・一〇　女聲合唱「女子青年唱歌」（東京）▲八・二〇　新日本音樂「七孔尺八獨奏と合奏」（東京）川本晴朗▲八・五〇　物語「銃前銃後」（東京）淸水將夫外大せい

發明考案に關する原稿募集

近く當協會の機關雜誌を發刊するに就き廣く原稿を募ります。左記規定に依り奮つて御寄稿を願ひます

課題……發明、意匠又は商標に關する原稿（原稿の種類は隨意です例へば研究論文、隨筆、體驗記、小說、映畫ストーリー、海外ニュース等）

【應募規定】

一、締切期日　康德四年九月二十五日

二、發表　機關雜誌十月號誌上

三、賞金　優秀原稿には相當謝禮金を呈します

四、宛先　新京大同大街康德會館內社團法人滿洲發明協會

注意　用紙は四百字詰原稿用紙　應募數は隨意　原稿は返戾致しません

康德四年九月七日

社團法人滿洲發明協會

店員募集

外務店員　年齡二十五歲位迄（內地人に限る）

市內に確實なる保證人二名を要す

右希望の方は履歷書携帶の上午前中本人來談のこと

ダイヤ街　西村洋行

タイピスト採用廣告

菅沼式日文タイピストを左記に依り若干名採用す

一、資格　高等女學校又は之と同等學校卒業者にして打字に熟練し身體强健なる者

一、銓衡　九月十日午前九時本部人事科にて

右希望者は來る九日迄に自筆履歷書を左記に送付の上銓衡日に出頭せられたし

產業部大臣官房人事科

女後募集

連日滿員に付至急入用委細面談せられたし

大和通り　ナポリ　電③五五五五

女給急募

一、新開地行（有望の土地）

一、收入多大

一、委細は面談の上

新京名古屋ホテル內　白石　電③三〇二九

讓店

飲食店至急讓る

目拔の場所

御用のお方は電話③五二九一番へ

演藝映画

少年航空兵 けふからの長春座

長春座六日よりの番組は左の如く松竹二番線三本立である

▽松竹大船「少年航空兵」海軍省、海軍航空本部その他の後援を得て製作された航空映畫、本郷秀雄、永島光代、日下部章等を主演せしめて少年航空兵に應募した少年の輝やく武勳をあしらひ、これに海、空の精鋭の活躍をとり入れたスペクタクル、佐々木康の監督作品である、時節柄興味をそそる映畫であると言はれやう

▽同京都「あさぎり峠」伊藤大輔の鼠小僧ものであるサイレント時代にも鼠小僧ものには佳作があつたが、これなども衰へたとは言へ矢張り彼らしい特徴を示してゐる作品であつた、坂東好太郎と飯塚敏子の顔合せ

▽第一映畫「與太者サーカス」月田一郎、歌川絹枝、武田一義の主演する石本純吉の監督作品、中野實の原作により原健一郎が脚色したものである、旅廻りのサーカス團を背景に暗い前科を持つた二人の若者が描き出す涙と笑ひの物語り、前記の外に關西新劇より深見泰三大船から水島光代が特別出演してゐる

名畫週間第三回 けふから豐樂劇場

豐樂劇場六日よりの番組は「名畫祭り」三の替りとして左の如く東寶系全プロである

▽PCL「戰國群盗傳前後篇」三好十郎の原作に基いて山中貞雄が脚色、瀧澤英輔が監督に當つた作品である前進座河原崎長十郎、中村鞍右衛門以下その一黨にPCLから千葉早智子が出演戰國の世を背景に權勢と家名のために葬り去られやうとする若き武士が、一群の野武士の仲間と共に蹶然起つてそれらの勢力に挑むダイナミックドラマ、壯大な富士の裾野を舞台に展げられる集團の行動を把へて、瀧澤英輔としては手馴れたスペクタクルシーンをふんだんに愉しませてくれる、第一部虎狼の卷、第二部堯の前進、山田耕作の擔當した音樂も又よき効果を添へてゐた

▽PCL「からゆきさん」島原半島の先端にある一寒村を背景に、遠く波濤を越えて南洋方面に出稼いだ女達が村人達の迫害をうけながら生活してゐる、さうした女達の一人ユキがたつた一人の愛兒との悲しい袂別に綴る涙物語りをとほして、當時の異色あるローカルカラーを盛り上げた佳作、鮫島麟太郎の原作により東坊城恭長と畑本秋一が脚色、演出には木村莊十二が擔りこれ又集團の動きを意識的に把へつゝ、それらと關連を持つ個々の動きを克明に寫し得てゐた點、好調にあるこの人の仕事としては寧ろ逞しいものを感ぜしめるものであつた、入江たか子を中心に淸川虹子、淸川玉枝、伊達里子、丸山定夫、北澤彪、御橋公、江野ロージェー等がいゝ動きを見せてゐた、キャメラは立花幹也

待望の名篇 近く封切! メトロ・ゴールドウヰン・メイヤー 空駈ける戀 クラーク・ゲーブル ジョーン・クロフォード 主演 帝都キネマ

人生の初旅

△新興大泉、大船から臨時出張した島津保次郎がメガフォンをとつた作品で自らの原作脚色によるもの、大內弘が新興入社第一回主演する他に毛利峯子、千田是也、浦邊粂子、歌川八重子、大井正夫、松平龍子、小宮一晃等が助演、年老いた母と妹を殘して繪畫修業に東京に出た青年が、一度びは街の看板書きまでに落ちぶれるのであるが、やがて一陽來復彼の書いた繪が入選して母と妹の喜びの笑顔を見ることが出來る、生方敏夫のキャメラ、銀座キネマ九日封切

忠治賣出す けふからの銀座キネマ

銀座キネマ六日よりの番組は左の如く新興二番線にフォックス作品を配した三本立編成である

▽新興京都「忠治賣出す」市川朝太郎の新興入社第一回作品として發表されたもので國定忠治が愈よ賣出すまでの不良少年時代を描いた伊丹萬作の快作である、月形龍之介、毛利峯子、高津慶子等を配し、忠治から齒の浮くやうなヒロイズムを拔き專らその人間性に焦點を置き乍ら、一方不敵な後年の忠治の胚胎を植つけてゐるなど、とに角萬作作品としては代表的なものであつた

▽同「爛漫城」尾上榮五郎、原聖四郎、國友和歌子、森靜子主演、木村惠吾の監督する作品、世は戰國時代馬鹿か利巧か判らぬ城主をめぐつて忠臣惡人入り亂れて縺れる定石のお膳立、サウンド版

▽フォックス「南歐横斷」コンラット・ファイト、エスター・ラルストン主演の探偵劇、ウォルター・フォードの監督作品

新興古川登美に主演作品の原作懸賞募集

菊池寛原作、田中重雄監督作品新興大泉の超特作「結婚への道」に於て、山田五十鈴を向ふに廻し絶對の好演技を菊池寛氏をはじめ各批評家より推薦されてゐる古川登美は愈よ大泉のホープとしての貫錄を堂々示し、新秋を期して敢然全映畫界に挑戰すること〻決定してゐるが、大泉ではこの最新式戰鬪機古川登美の出動に備へて先づ「結婚への道」の關子の短評を募集したが、その第二次企畫として、登美のパーソナリティを飽くまで生かし主役とし十二分活躍せしめる原作（既發表の小說、戲曲）の推薦を一般より懸賞募集すること〻なつた

締切は九月十五日、宛名は板橋區東大泉町新興キネマ撮影所內企畫部、用紙は自由、尙書式は作家名と原作の題名、其作品の掲載されたる新聞雜誌名を添書する事、嚴選の上採用の原作推薦者に對しては一等金二十圓一名、二等金十圓、佳作古川登美サイン入りブロマイド（二十名）呈す

暗黑街の彈痕（近日封切）　南國太平記　豐樂劇場

クーガンが結婚

チャップリンに見出されて「キッド」に出演して以來、往年の名子役として謳はれたジャッキー・クーガン君は、いつの間にか二十三の好青年になつたが、今年の暮かねて相思の女優ベティ・グレーブルと結婚式を擧げることとなつた…二人のロマンスはベティがRKOと結んだ「契約の中に契約期間中は結婚しない」といふ一札を入れてあるため果して實を結ぶかどうか疑はれて居たのだが、當のベティあたし達は十二月十八日妾の誕生日にビーヴァリールスの教會で結婚することにしましたと語つてゐる

テボリ

銀座新道に立つて何處へ行かうかと惑ふこと暫し、ボク等カフエー〃新興〃なる家に這入つて見たです▼さきの日本服時代のカフエ・モンテカルロから轉じて來たといふ富士美（それとも藤美か、まさか不死身ぢやあるまい）といふひとが居つてはじめは沈默してゐたがやがて滔々の論陣を展開したです▼「あたし純粹の獨身なの、でも續々候補者が現れたりして面倒だから時々カムフラージュするのよ」から始まつて「男の人つてけしからんと思ふわ、一、二年つきあつて、どうやら好い仲になると直ぐアレを要求したりする、背中になんか斯う水でも流されるやうないやな氣持がするわ……」等々、經驗談を語つて甚だ雄辯、論戰われと思はん者一度ぶつつかつてみるといいでせう

雜音

豐劇名畫コレクション第二週は土曜、日曜日に重なつて二日ともいゝ入りを見せ、二日目日曜日は補助椅子が出た好調續き▼甚だよく客足がついたものでこの頃の佐野支配人は御機嫌さんである▼長春座帝都も日曜日は好調、新キネの入りもいゝと傳へられる▼三館けふから寫眞替り、これが濟むとぼつ〳〵お祭り興行の準備に入る▼銀キネは九日から島津の「人生の初旅」一であるが、大內、毛利の顔合せ島津監督が新興映畫の新しい色合ひが期待される

火曜　丁酉　佛滅　除　觜宿　九月七日　舊八月三日

●一白の人　忠言に反かず溫厚なれば後援を得て功あり　甲と乙と丁が吉
●二黑の人　天興の幸慶は自ら家道の繁榮を齎らすべし　庚と子と癸が吉
●三碧の人　本業に執着して他事を思はざれば安全なり　乙と丁と辛が吉
●四綠の人　義理に迫られ餘儀なき手出しも失敗に終る　甲と乙と丁が吉
●五黃の人　萬事に油斷なければ功果は期せず求め得ん　庚と壬と癸が吉
●六白の人　昇天の折を待つ龍の如く暫く淵に潛むべし　丁と庚と壬が吉
●七赤の人　長上の意見に從ひて事を謀れば大吉となる　丁と壬と癸が吉
●八白の人　諸事有望なる日　後來の榮達を呈す奮起せよ　庚と壬と癸が吉
●九紫の人　人の世話苦勞加はりて損害をも蒙るべき日　甲と辛と丑が吉

第七回名畫大會

メトロ社の超音樂巨豪篇W・S・ヴアン・ダイク監督

ローズ・マリー

主演 ジヤネツト・マクドナルド・ネルソン・エディ
歌と音樂に甘き戀の囁き織り込んで巨匠W・S・ヴアン・ダイクが描く名篇

英ゴーモン・ブリティシュ映畫社超特作アルフツド・ヒッチコック監督

三十九夜

主演 美男名優ロバート・ドーナツト…マデリーン・キヤロル
深夜・謎の美人が殺さる・小指のない秘密結社の首領・疑問の三十九…あなたは忽ち主人公と一緒に恐ろしい事件に捲き込まれて行くのです？

プレジヤンの

トト

室はコバルト・地には花溢れて懷は溫かしい朝の珈琲の美味いこと嬉しい二人頬を寄せて唄ふ陽氣に朗かに……
名優プレジヤンの明朗篇

七日より　入場料階下四十錢
帝都キネマ

和洋結髮
美容一式
クロネコ美粧院
東一条通十三　電(三)三四四四番

ヂンギスカン

皆樣の西公園あたご賣店にヂンギスカン鍋を始めました是非一度御試食下さい（五名以上一〇〇名迄）
折詰　割烹　辨當
ダイヤ街　あたご　電③二八〇九

珍奇驚異・幻想・動亂・アジア大陸の全貌

アジア大陸横斷

暴戾支那の姿を見よ！監督アンドレ・ソーヴァジュ・探險隊長ハルトMG

日本國民必見の本格的軍事映畫

報國爆進

オールトーキー
監督 伊賀山正德　原作 野口宮英雄
主演 伊澤一郎・廣瀨恒美・田村美沙子

國寶的記錄映畫！！陸軍省・文部省推薦

不滅乃木

オールトーキー
生ける日の乃木將軍の眞姿を見よ

オール戰爭番組

突擊週間

パラマウント社の誇る巨篇・キング・ヴイダー監督作品

テキサス決死隊

日本版
主演 フレッド・マクマレー・ジャック・オーキー・ジーン・パーカー

×日支事變ニュース
×大毎パ社ニュース
七日より三日間×三十錢均一

敬愛する全新京市民諸君！！新京キネマは武裝す　噫々

新京キネマ

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)(3)三二〇五 營業局專用(3)(3)三二〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

歐米に使節特派
列國の疑念一掃に努む
政府、議會で言明

【東京國通】帝國政府は在外使臣に訓令して支那事變に關聯するわが公正なる態度につき列國の認識を深むべく努力してゐるが、列强中には未だにわが眞意を諒解せず東亞の平和と安定を念とするわが對支態度に疑念を抱く向もなしとしないので、政府は愼重その對策を進めてゐるが、六日の豫算總會で首相、外相は政府としては歐米各國に使節を特派しわが公正なる態度につき各國の理解に努むべしとの意向を洩してゐる旨を言明した

なほ使節については政府は考慮中だが大體民間から採り、特派國の輿論に訴へる筈である、目下政府部內で問題となつてゐるものは外相の推薦にかゝる石井菊次郞子、深井英五氏等の各候補であり、各閣僚それぞれ適任者を物色中であるが、派遣の時期、方法の決定までには若干の時日を要する見込である

臨時資金調整法 適用範圍等決定

【東京國通】五日午後の臨時資金調整法の適用基準を決定すべき臨時資金準備委員會において第四條の「命令に定むる會社」には公稱資本金五十萬圓以上のものとする事に決定した、而して第四條第二項の「命令の定むる限度」(自己資金の場合)は未定で、法の適用範圍たる「原則として事業の新設、擴張、改良を認むるもの」には大體つぎの事業が含まれる筈である

採鑛業、土石採取業、紡績業、金屬工業、造船業、化學工業

質疑の中心點は 時局對應諸問題
衆議院豫算總會(六日午後)

【東京國通】(二面つゞき)衆議院豫算總會は午後一時四十五分再開

野田文一君(民政) 支那事變は東洋平和のため遺憾千萬であるが、この機會に根本的解決、東亞の安定が確立すれば今回の戰禍はむしろ天祐ともいふべきと思ふが如何

近衞首相 わが國の一大使命は東亞の安定にあり、これを阻むものは赤化勢力である、したがつてわが國のとるべき方策は直接には支那を反省せしめて、抗日政策を抛擲せしめ、進んで赤化政策を東亞より驅逐するにあり、事變落着後には日滿支相結んで赤化勢力を東亞より掃蕩せんことを期してゐる

東武君 不侵略條約の背後にありと信ぜられる軍事密約については同感であるか

廣田外相 軍事密約については支那側はその事實なしとしてゐるが、帝國としては表裏を見透して萬全を期してゐる

東君 ヒュ・ゲッセン大使の負傷に關し英國から手交された通牒內容は實にわが國を侮辱するものである、わが皇軍が絕えず非戰闘員を攻擊する野蕃軍なりと難じてゐるが、外務省はこれをもつて正當なる通牒なりと信じてゐるかどうかゞ第一點、眞相如何が第二點、支那軍の奸策にあらざるやの疑惑が第三點、交戰地域無斷通過は大使側の責任にあらざりしやの點が第四點

その四點に明答を望む

廣田外相 イギリス側の通牒を受けとり事實調査を行つてゐるが、今日までわが日本飛行機の所業なりと斷定し得る何等の證左を得てゐない、また皇軍が非戰闘員を故意に攻擊するごときは絕對にないと信じてゐる、たゞ日支交戰狀態下において友邦英國大使が負傷されたことについては遺憾であると考へてゐる

東君 非人道行爲を行つてゐることが判明したといふ皇軍および帝國に對する侮辱については外相、海相は如何に考へてゐるか

廣田外相 外國の公文書に對する批評は差控へたい

米內海相 帝國海軍が非人道的行爲を敢へてする如きことは斷じてない

東君 第三國船が武器その他を運ぶ場合はどう處置するか

米內海相 宣戰布告がないため海岸封鎖が出來ず、極めて手緩いやうだが支那船の交通遮斷に限つたわけで、第三國船については效果は及ぼさない

東君 第三國船が武器その他を輸送する場合でもそうか

米內海相 第三國の船が武器糧食を運んだといふ事實がないから何ともいへないが、萬一事例の如き場合がありとすれば外交々涉その他によ方法があると考へる

東君 英米獨佛の上海中立案に對する帝國の回答中には正規軍及び保安隊が停戰協定地區外に撤收すればわが方も兵を收める旨を書いてあるがその眞意如何

廣田外相 支那正規軍の撤收と保安隊の撤退によつてのみ事態を收拾し得ると通告したゞけである、わが軍の撤去等については何等申してをらぬ

村松久義君(民政) 銃後の國民生活安定と綜合的革新政策遂行の急務を說き、特に小作法制定の意思如何を質し

有馬農相 小作法の名稱を用ひるか否かは明言出來ないが、小作關係の立法を通常議會に提出する準備は熱心に進めてゐる

村松君 戰時需要と國民的需要とを調節する綜合的機關については首相は何等か所見ありや

近衞首相 企畫廳の機能を發揚するため專任總裁を置きその他にも種々の施設を講ずべく研究中である

東君 生產力擴充に對する見透し如何

賀屋藏相 事變發生の結果戰時の目的を達成するために生產力擴充を當面の必要に限定し不急不要の物資々金勢力は節約せねばならぬ

原田初太郎君(政友) 青島居留民引揚げに關する海相の所見如何

米內海相 一時的の引揚げであることだけを申上げる

七日の兩院

【東京國通】七日の兩院

△**貴族院** 衆議院より昭和十二年度追加豫算案の送付を待つて午後本會議を開き賀屋藏相の說明があつて後これを委員附託とする、又午後豫算總會ならびに諸法案の各特別委員會を開く

△**衆議院** 午後一時より本會議を開き午前の豫算總會で可決された追加豫算案、臨時軍事豫算案等を緊急上程して可決直ちに貴族院に送付する

貴族院本會議 二法律案可決

【東京國通】六日の貴族院本會議は午後三時十八分開會、直ちに日程に入り

一、臨時馬の移動制限に關する法律案(政府提出)

ならびに同日午後の委員會で可決せる

一、軍需工業動員法の適用に關する法律案(同上)

を日程に追加一括上程し、採決の結果原案通り可決、これにて日程を終了して同廿七分散會

頼む敵堅壘も刻々潰ゆ
我軍東部第一線の强行記

【上海六日國通特派員發】しばらく沈默を續けた上海東部滬杭大學附近の戰線は、五日夕刻より俄然活潑なる行動を開始した記者は六日未だ明けやらぬ上海の市街を各所の步哨に誰何されながら楊樹浦方面に車をはしらせる、曉雲を衝いて、はるかに砲聲が響いてゐる、わが軍からの砲聲だ、初秋の凉風をあびつゝ全身は砲聲に一層のひきしまりを感ずる、兵火に燒け落ちた町をぬけて行く、一ケ月前には想像だにつかなかつた廢墟が續く、增田部隊本部に近づく頃には砲聲にまじり機關銃、小銃の音が豆を煎るが如く聞へてくる、途中步哨に前方の狀況を聞きつゝ進む目的地の滬杭大學附近に到着した時には夜も早や明けはなれ旭日は東方地平線上に赫々と昇つてゐた ピュッピュッと銃彈がひつきりなしに落ちる、砲聲は殷々として響く、行交ふ兵士の面上は緊張にひきしまつてゐる

數日前 上海方面に上陸した飯田部隊は五日夜半より六日朝までに滬杭大學附近に集合、軍工路より虹江碼頭附近に蟠居する殘敵を一擧に掃蕩すべく劍を研ぎ彈丸を補充し攻擊準備を整へ進擊命令を待つ、わが果敢なる攻擊を知るや殘敵は思ひ出したやうに小銃、機關銃をもつて射擊しかける

相呼應 して飯田部隊は陸戰隊とこの防禦陣地に突擊、堅固なる防禦陣地を奪取すべく虹江碼頭附近一帶に進出せんとする、午前四時半頃黃浦江上滬杭大學附近に碇泊中の軍艦○隻は敵陣地に砲擊を浴びせる、陸上の陸海砲兵隊も野砲、重砲の火蓋を切り銃の響きが風を切つて飛ぶ、砲彈の氣味惡いうなりが聞へる、時は今午前五時半、夜も漸く明けはなれる頃飯田部隊は前進攻擊に移る

機關銃 小銃の音がひとしきり起る、軍艦○○に待機中の○○隊の一部が時を移さず虹江碼頭に敵前上陸を敢行する、われわれのゐる滬杭大學附近には敵の射ち出す榴散彈がひつきりなしに飛來する、飯田部隊長始め幹部將校は附近に炸裂する砲彈をも顧みず作戰に餘念ない

やがて 全身泥鼠のやうにぬれた傳令が敵情報告のため飛んで來る、わが軍は早くも海濱港クリークまで進出したのだしかしこの地區は沼地が多く前進相當困難のやうで傳令の泥まみれの姿を見てもその困難さが想像される、八時頃にはわが海軍機が見事なる編隊をもつて飛來、敵陣地上空を旋回飛行すると見るや

急降下 爆彈投下を敢行、やがて遠くより地響をたて爆彈の炸裂する音が聞へて來る、射擊を中止してゐた重砲が間近で射擊を開始し轟然たる音とゝもに砲丸はうなりを立てゝ飛び出す、虹江碼頭近くの赤煉瓦の建築物が一瞬赤黑い煙に包まれる、砲兵隊長は聲高らかに命令を下す、續いて二彈、三彈と砲口が火を吐く

建築物 は次から次へと破壞されて行く、虹江碼頭附近に敵前上陸のわが部隊の進擊を阻みつゝあつた敵の防禦陣地が破壞されつゝあるのだ、かくしてわが陸海空の密接な連絡より相呼應しての果敢なる攻擊は、永久的陣地を頼み頑强に抵抗しつゝある支那軍を一步一步殲滅的窮地に陷し入れつゝある

汕頭要塞地を爆擊

【香港六日發國通】六日正午わが海軍機○機は汕頭上空に現れ、同市要塞地帶に大爆擊を敢行し多大の損害を與へて歸還した、市內はこれがため大混亂を呈してゐる

頑强な敵の抵抗を壓す
虹江クリーク前線に進む
我軍報道部發表

【上海六日發國通】軍報道部午前十一時半發表

石井部隊の一部及び砲兵部隊の一部は共同租界に上陸し、五日夜滬杭大學附近で攻擊を準備し、今拂曉六時頃より攻擊開始、陸海砲兵の砲擊及び海軍航空隊の爆擊と相俟つて頑强なる敵の抵抗を排除し午前十一時概ね租界虹江クリークの前線に進出し、目下攻擊を續行中なり、右攻擊を容易ならしめるため石井部隊の一部は午前六時頃より陸海協力のもとに虹江碼頭に敵前上陸を敢行し、江岸附近の地域を占領し、また海軍陸戰隊の一部は軍工路西側の地區より楊家宅の前線に進出せり

東部戰線の敵に猛空爆敢行

【上海六日發國通】わが海軍空爆隊○○機は六日午前八時東部戰線上空に勇姿を現はし銀翼を陽光に輝かしつゝ旋回偵察の後、前面および市政府方面の敵陣地に對し猛烈な爆擊と機銃掃射を加へ、敵に大打擊を與へ午前十一時現在なほ爆擊を續行してゐる、地上には巨砲のうなり、紺碧の空には高らかに爆音轟き戰況は漸次われに有利に展開しつゝある

我軍金家宅彈藥庫攻略

【上海六日發國通】黃浦江下流沿岸の敵軍に對し物資彈藥の補給根據地たりし金家宅彈藥庫攻略のため棚橋○隊長麾下佐守源一曹長の指揮する○隊四十餘名は挺身隊として五日午後七時頃より機銃隊掩護のもとに手榴彈、爆彈等を携行して突擊倉庫の屋上敵兵から雨の如く注ぐ機銃、手榴彈の十字火をものともせず激戰二時間餘にして同九時過ぎこれを占據した、この戰闘で佐守曹長は壯烈な戰死を遂げ、兵十六名の死傷者を出した、なほ同彈藥庫は金家宅西方一キロの地點にある

香港近海て監視船拿捕

【香港六日發國通】六日朝わが○○艦が香港近海を警戒中支那稅關監視船一隻が交通遮斷區域を侵して附近を航行してゐるのを發見し直ちにこれを拿捕した、これは帝國政府が五日支那海の交通遮斷區域擴大を宣言して以來最初の收獲である

東天鎭を占據す
察哈爾作戰軍に凱歌

【張家口六日發國通】察哈爾作戰軍の左右兩翼部隊はあたかも無人の境を行くが如く○○に向つて進擊し、五日午後六時二十分には察哈爾、山西省境の長城を越へて山西省に進入し、支那軍の堅壘天鎭縣城の東方一、二五〇高地を占領し、午後七時には田家灣、李兒口、新平堡をつなぐ線に進擊し、さらに西進して左右兩翼部隊は空軍爆擊隊と協力し、六日未明を期し空陸呼應して天鎭城の敵を急襲し午前七時五分東天鎭の要地を占領し、山西省の敵陣に日章旗を飜へし察哈爾作戰軍の意氣今や山西、綏遠を呑むの概あり、砲聲長城にこだまして物凄い

皇軍部隊馬廠猛攻
陷落目睫にせまる

【唐官屯六日發國通】五日の馬廠戰線攻擊は午後より夜にかけていよいよ激烈となり壯烈な戰闘が展開されたが、馬廠河、南運河合流點附近の堅固なる陣により頑强に抵抗を續けた敵も赤柴部隊の猛攻擊により漸次後退しつゝあり、馬廠河前方殆んど百米の地點に對峙を續けてゐる、一方沖田部隊は燒王附近を攻擊これ亦至近の距離に迫り果敢な戰鬪を續けてゐるが、連日の降雨に加ふるに敵は奇計を弄し馬廠河南運河の堤防を破壞せるためわが軍の前進する畑地に氾濫胸部まで水びたしとなつたわが將兵は惡戰苦鬪を續けてゐる、この戰闘において沖田部隊の池淵少尉外十名は名譽の戰死をとげ戰傷者二十名を出した

津浦線唐官屯迄全通

【唐官屯六日發國通】津浦線はわが鐵道隊の活動によつて破壞箇所の修理を終り六日午前九時唐官屯まで全通を見た、なほ馬廠河鐵橋方面に偵察に赴いた裝甲修理車は同日午前十時半鐵橋前二百米の地點において一齊射擊を受け敵彈を浴びつゝ歸來したが、報告によれば、鐵橋は破壞されてゐないが鐵橋附近には大部隊が塹壕に據り集結してゐるといはれる

寫眞說明

【國通特派員張家口發】我軍堂々宣化に入城し戶每日章旗を掲げる住民等に偉大なる感激を與へた宣化に於ける皇軍城壁望樓上の步哨兵【許可濟】

朔北の秋草を踏み
傷つける勇士を訪ふ

【○○にて六日國通特派員發】察哈爾作戰軍の最前線にある○○の第一野戰病院を訪ふ、最初は當地米人經營の○○療院を假病棟に充てゝゐたのだが、三日○○中學校跡のこの病棟に引移つて來たもので、生徒の使用してゐた寄宿舍のベッドが早速患者用に使はれてゐる、假病棟では皆アンペラの上に寢てゐたのだ此處には重傷患者十八名と輕傷患者九十名が收容されてゐる、何れも長城線進擊や萬全張家口攻略の際戰傷を負つた豪勇無双の勇士ばかりである

單身敵陣 にとびこんで群がる敵を散々斬り倒した末青龍刀で顏をザクロのやうに斬られた○○部隊の川島少尉、身に敵彈をうけながらも機關銃一挺で約四百の敵を擊退したといふ○○部隊の伍長、○○大隊長の人柱となつて敵陣に突入敵兵三名を突きさした上、手榴彈で右腕をちぎり取られた勇猛果敢な初年兵など何れも赫々たる武勳の持主である

輕傷患者 の病室に入つて行くと鬚むじやの河野軍醫少佐が患者達にオルガンを彈いてきかせてゐた「醫者も欲しいし、看護婦も欲しい」と小川病院長はいふ人手も足らず醫藥も不充分な病院に豐富なものはたゞ初秋を咲きほこる花々のみだ、蝦夷蘭、コスモス、月見草などが勇士達の枕許に馥郁たる匂ひをたゞよはせてゐる

大手術を 要する患者は毎日この病院から○○陸軍病院へ○○機で後送されるのだが、どの勇士も前線で快癒を待つた上再び戰闘に參加したくて後送には不服顏である、察哈爾作戰軍の○○部隊長は開設以來一日と雖も病院訪問を缺かしたことがない、「經費を惜しまず充分治療をせよ」と病院班を督勵する○○部隊長の眞情には鬼をもひしぐ勇士達が泣かされてゐる

寶山城攻擊
名譽の負傷横尾少尉談

【上海六日發國通】寶山城に蟠居せる敵を縱横無盡に殲敵して殊勳を立て名譽の負傷をした○○部隊横尾少尉は語る

三日夜呉淞鎭に上陸敵前部隊の援軍として呉淞砲臺附近の殘敵を追ひまくり五日朝寶山城の攻擊に參加した自分は裝甲車○臺、戰車○臺をもつて同日午前寶山城內偵察のため進擊したが、その時すでにわが軍の步兵二百餘が寶山城の所定線を確保してゐた、敵は裝甲車の突擊に驚き屋上から手榴彈等を雨霰の如く投下したが、わが戰車隊はびくともせず詳さに寶山城內を偵察した、わが軍は無辜の住民に損害を與へない方針に基き民家は殆ど被害を蒙ることなくかへつて敵が逃げ道をくらますために民家に火を放つてゐた、敵の主力部隊は逸早く逃走したが、城內の敵兵は思つたよりも僅少のやうであつた

なほ同少尉は福岡縣出身である

空爆連日に亘り
わが空軍部隊は自信滿々
梅崎中佐現地歸還談

【東京國通】海軍省軍事普及部梅崎中佐は去月廿八日東京出發、既に十數回壯烈な爆擊を繰返しつゝある○○海軍航空部隊を視察、同隊將兵と寢食を共にして六日午前歸京し直ちに海軍省に出仕報告を濟ませたのち、今日迄幾多壯烈果敢鬼神をも泣かしむる空襲記錄を織りなして全國民の興奮、憧憬の的となつてゐる同航空隊の涙ぐましくも壯絕な日常について左の通り語つた

五日夜も海州を空襲爆擊したが、同部隊は連日の空襲を敢行し、全將士の張切り方はすばらしいもので、幾多の試練を經て滿々たる自信をたゝへてゐる、數次にわたる爆擊で近頃はすつかり慣れ、貴重な體驗を得て極めて有效な活動を續けてゐる、空襲部隊が司令の攻擊命令を受け轟々プロペラの唸りを立てゝ出發する瞬間こそ實に肅然襟を正さしめる情景だ、勇士たちは烈々たる闘志を包んでゐるがまるで演習に向ふやうな冷靜さで攻擊に參加しない將兵たちが機影が空に見えなくなるまで見送つてゐるのは見てゐて目頭があつくなる、勇壯と云はうか壯絕と云はうかとても言葉には盡せるものではない、やがて重き任務を果して彼等は歸つて來る、依然として彼等は無表情だ、何事もなかつた樣な顏をして淡々として報告するのだ、彼等と勞苦を共にしてはじめて彼等の眞實の勇氣を知り信頼の念を禁じ得ない

外船輸入基準 船齡十五年
委員會で言明

【東京國通】六日の衆議院臨時船舶管理法案委員會において永井遞相は

外船輸入につき從來の外船輸入禁止は諸般の情勢に鑑みこれを訂正することゝなつたが、國策として堅持しつゝ來つた優秀船建造主義と矛盾しないやうに輸入許可の場合考慮する考へである、歐洲大戰時の戰時急造船は粗惡であるのでなるべく優良な新造船を歡迎する方針から船齡十五年未滿のものはこれを無條件に許可してその使用の繼續を許さうと思ふ、しかしてそれ以上の船齡の古船輸入を許可するに當つては事變終了後解體を條件とする

と述べて輸入の基準を船齡十五年とすることを明かにした

島氏轉任

滿鐵新京支社庶務課秘書係主任島信三氏は同社北支事務局駐在理事佐美寬爾氏の秘書役に轉任八日午前十時新京驛發はとで出發赴任することになつた、同氏は新京支社開設以來名秘書係主任として各方面に好感を持たれてゐただけにその榮轉は非常に惜まれてゐる、なほ後任は一兩日中に決定發表される筈である

田中經理科長

滿洲國內務局經理科長田中弘之氏は過般來內地歸省中のところ六日午前八時十分の列車で歸任した

人事往來

▲野村太一氏(會社員)六日來京中央ホテル
▲今井信治氏(官吏)同
▲池田政義氏(商業)同
▲猪島安三氏(同)同
▲青山勝藏氏(材木商)同
▲村越信夫氏(克山農事試驗場長)同都ホテル
▲織川政造氏(請負業)同
▲成田安清氏(官吏)同向[illegible]
▲眞木八郎氏(會社員)六日來京帝都ホテル
▲横田實氏(請負業)同

帝國海軍は遂に北は秦皇島から南雷州半島附近に至る蜿蜒千五百浬の全支沿岸封鎖を斷行した▼我が陸海空精鋭の無人の境を行くが如き强襲に死傷算なき支那軍は▼奪掠暴行勝手たるべしといふ支那軍獨特の命令や女軍慰問隊に勵まされたり▼督察隊におどかされて漸く戰時體制を保つてゐるが極度に士氣=無論士氣など持合せてゐるものはなからうが=沮喪せる事は言ふまでもない▼最近ソ聯から飛行機大砲などの武器が陸路支那に輸送の途中と傳へるがよし武器が到着したとしても▼戰意なき烏合の衆には棍棒程の用もなさないであらうし▼我が海軍の沿岸封鎖の威力は宛かも咽喉を締めつけるやう次第に重壓が加はつてくるし支那軍滅亡の日は刻一刻と切迫しつゝあることが見へる▼勇敢物言はぬ戰士に慰問品の温い手をさしのべんとする軍犬協會新京支部の企て▼誠に時宜に適せる思ひ付きといふべし各界擧つてその趣旨に贊すべきだ

社説

日本の對支方針闡明

一

今次の臨時議會に於いてわが對支方針は近衛首相により明白に表明された。即ちその最重要點は「北支に事件勃發以來帝國政府がとり來つた根本方針は今日と雖も何等變るところがない」「しかるに支那側は帝國政府の眞意を諒解せず帝國政府の隱忍に乘じてますます侮日抗日の氣勢をあげ、統制なき國民感情の激すゝところ事態は急速なる惡化を來たし、局面は北支のみならず中支にまで波及するに至つた」「隱忍に隱忍を重ねて來たわが政府もこゝにおいて從來の如く消極的、局地的にこれを收拾することの不可能なるを認むるに至り遂に斷乎として積極的且つ全面的に支那軍に對し一大打擊を與ふるのやむなきに立ち至つた」「帝國の打擊を加へんとする目標は誤れる排外政策を實行しつゝあるところの支那政府および軍隊であつて帝國は斷じて支那國民を敵とするものではない、また支那政府にしても眞によく反省し今後わが國と提携して相共に東洋文化の發達と東洋平和の確立に向つて力を竭さんとする誠意を示すに至るならば帝國としてはなほこれを追求せんとするものではない」以上の如き言葉に見られるのである。」

二

帝國の庶幾するところは北支を明朗ならしめ支那全土に今回の如き戰火再發の憂ひ無からしめ、もつて日滿支三國の融和提携を實現し、東亞安定の基礎を築き共存共榮の實をあげるにあること、これは廣田外相によつて明瞭に說かれてゐるところである。そして廣田外相は「故に私は支那當政者が東亞の大局を洞察し速かに反省して帝國の理想に順應し來らんことを望んでやまない次第である」とも述べてゐる。これはまさにわが全國民の眞情を簡明に壓縮したものであり、殊に地域的に相接壤する滿洲國全民の強い共鳴を呼ぶところの言葉である眞に東亞の大勢について考ふるところある支那の國民が斯かるわれらの意思をよく理解せんことを望まなければならぬ。」

三

その後、議會に於ける應酬を見ると、一質問に答へて首相は列國殊に歐米の諸國中にはわが國の眞意について誤解を抱くものもある如くであり政府はかかる誤解を一掃するために努める旨を述べてゐる誤れる而してその結果有害たる解釋を排することは當然努むべきであらう。ただわが國の支那に對する態度はすでに毅然として決定的なものである。何も諸外國の觀察如何を深く考慮して遲疑すべきではない。稍もすれば斯かる點に必要以上の力を致す如き弊を今次事變を機會として一掃しなければならぬものである。

ソ支不可侵條約は等閑に附し得ぬ

小川君質問に外相の答辯

【東京國通】衆議院豫算總會は六日午前九時廿分開會

一、昭和十二年度歲入歲出總豫算追加案

一、昭和十二年特別會計歲入歲出追加案

一、臨時追加費豫算案

の三案を一括附議し、賀屋藏相よりその內容につき說明し杉山、米內、廣田、馬場、賀屋の五相よりそれぞれ所管事項につき說明を行つたのち質疑に入り

小川鄕太郎君（民政）今次の追加豫算案は如何なる前提にたつものであるか

藏相　廿億餘の追加豫算で何時まで賄ふ豫定になつてゐるとは申上げられぬ

陸相　作戰中に重大なる變化のない限りさらに臨時議會を開いて追加豫算案の審議をなす必要はないと考へる

小川鄕太郎君　ソ支密約問題支那政府、軍閥の共產化等については政府は如何に考へるか日支の抗爭が共產主義に對する拮抗の意味をもつてくれば第三國の間にも敵對關係の生ずることになるのではないか

外相　ソ支不可侵條約は時局に重大變化を齎した、不侵略條約は兩國が豫て希望してゐたところであるが今日この際これが成立したことは決して等閑に附し得ない重大問題である、この條約成立に際し許世英駐日大使はその性質が單に消極的であつて密約などの特別の意味がないこと、また支那は共產化することがないことを力說し、新任ソ聯大使もソ聯が日支兩國關係に介入するやうなことは絕對にないと力說してゐた、しかし例へば歐洲についてみるにスペインを中心にソ聯の旺盛な活躍があつたことは周知の事實であり、これを最近支那における共產黨の活動と思ひ合せて重大なる注意を要するものと考へて注目を拂つてゐる

小川鄕太郎君　追加豫算に伴ふ物資の供給關係はどうなつてゐるか

陸相　外國から供給を仰がねばならぬ物資は比較的少額である

小川鄕太郎君　惡性インフレや物價騰貴の對策如何

藏相　資金が一應行き渡つたところで或は公債政策によつて或は興業債券を引締める必要があると考へてゐる、惡性インフレに陷る懸念はない

小川鄕太郎君最後に國際貸借の爲替水準維持の見地から戰時財政經濟政策の充分な運用を希望して質問を終る

岡田忠彥君（政友）今日の時局はわが大和民族にとつて第二の飛躍の秋であると思ふ、今日の戰局を如何に終結するか政府の所見を承りたい

前提して

一、事變の終了とは何を指すか

一、今次の非常立法は政府の時局對策のすべてであるか

藏相　事變の終了は兩國間に協定が出來作戰用兵の必要がなくなつた狀態において勅裁を仰ぐことゝならう、政府の非常對策は今次追加豫算および各種法律案の範圍內に留まるものである

岡田君　北支の將來を如何に考へるか

外相　將來北支をどうするかについては戰局の終結を俟たねばならぬが日滿支三國にとつて明朗なる地帶とする必要があると考へてゐる

岡田忠彥君　靑島の現地保護を行はず引揚げを決行した理由如何

海相　大局的見地から引揚げに決したのだ、やむを得ない處置である

ついで岡田君事變以來の外交經過及び引揚げ避難民保護方法について質したる後

岡田君　帝國の態度を列國に徹底せしめるため如何なる手段をとる積りか

外相　單に外交官に留らず外國と關係の深い人々を煩はして帝國の眞意徹底に努める積りである

さらに軍事救護施設、農村金融等に關し質疑をなし大衆の福利增進の必要を強調して質問を終り午後零時廿分休憩

市民の損傷なしに堂々寶山を占據

金田部隊再度の武勳

【上海六日發國通】鷹森部隊は二日吳淞砲臺占領に引續き寶山城內に相當の敵が占據せるを發見したが、同城內にはなほ多數の非戰鬪員の殘存せるため直接これを攻擊するを避け二日朝來飛行機から盛に投降勸告ビラを撒き平和裡に同城を占領せんと努めたが、四日朝に至るも寶山城よりは何ら投降の意思を表示しないので、やむなくこれを攻擊するに決した、しかるに敵の主力は同城西南方一キロ曹家濱金家宅方面に數線に亘る強靱なる陣地を構築、これに據り抵抗しつゝあること判明したので鷹森部隊は砲兵の協力を得てこの城外の敵に四日夕より三度猛擊を加へて五日朝に至り淺間部隊の南方より進出天谷部隊の協力を得進擊し、さすがの頑強な金家宅の敵も遂に多數の死體を遺棄し西方に潰走軍要據點を失つた寶山城南側の敵も續いて潰走し、かくて鷹森部隊の左翼金田部隊は敵の抵抗を受けることなく同日正午堂々寶山縣城に入城々頭高く日章旗を揭げ得たのである、金家宅の激戰によりわが方にも相當の死傷あるが、要害を衝くことにより寶山城內の非戰鬪員には損傷を與へることなく、まことに堂々の師を進め得たわけである金田部隊は吳淞砲台攻擊の際も易々とこれを陷落せしめ日章旗を揭げた名譽の部隊であるが、五日にも再び日章旗を寶山縣城高く揭ぐる榮譽を擔つた次第である

財源を斷たれた支那 長期戰は絕望

紐育タイムス紙素っ破拔く

【ニユーヨーク五日發國通】五日のニユーヨークタイムス紙の上海特電は、支那の財政狀態が豫想以上に惡く、日本との長期戰に到底堪へ得べくもないと左の如く報じてゐる

上海における外國銀行筋の見解によれば、國民政府の財政狀態は豫想以上に惡く對日戰が今後半年も續けば支那の內外債は利拂ひ不能に陷る事は必定である、既に海關收入は消失してゐるから國民政府の財源は地方地代增徵以外になく財源も數ケ月を出ずして缺乏を告げるであらう。武器供給者としてはソヴイエト聯邦が唯一の希望だが蒙古の沙漠をトラックや駱駝隊で武器を輸送すれば日本軍飛行家にとつて恰好の空爆目標とならう、それ故結局支那軍は充分な武器供給を確保することは出來ないわけである

敵前上陸

上海〇〇碼頭上陸の我〇〇部隊勇士（上）と敵前上陸の陸軍部隊（下）

閣議決定事項

六日の國務院會議で左の如く重要特產物檢査法ほか八件が通過したので政府は參議府會議の諮詢を經て十六日頃公布する豫定である

一、重要特產物檢査法（滿洲特產物の大宗たる大豆、豆粕等の輸移出品及び鐵道船舶による搬出品の全般にわたり公正なる規格標準に基き國營檢査制度を確立し、もつて品質の統一、向上を促し取引の圓滑を圖り、特產物輸出貿易の增進を期するものである）

一、滿洲拓植株式會社の債權讓渡に關する件

一、郵政總局官制中改正の件

一、郵局官制中改正の件

一、郵政管理局官制中改正の件

一、國務院各部官制中改正の件

一、省地方費中改正の件

一、麻藥法第二條による麻藥の製造輸入および賣下に關する件

一、麻藥法施行期日に關する件

支那旅行移住者身分證明願樣式

新京日本總領事館では五日支那方面旅行移住者取締規則を公布したが、これに要する身分證明願樣式は左の通りである

支那旅行身分證明願

一、本籍

二、現住所

三、職業　氏名　年齡（生年月日）

四、旅行の目的又は理由

五、旅行期間自昭和　年　月　日至昭和　年　月　日

六、旅行經路及旅行先地

右に依り旅行致度に付右御證明相成度此段及願出候也

年　月　日

氏　名　㊞

所轄警察署長　宛

支那移住身分證明願

一、本籍

二、現住所

三、職業　氏名　年齡（生年月日）

四、移住目的

五、移住地

六、家族其の他同伴者氏名、年齡、職業及本人との關係

右に依り移住致度に付右御證明相成度此段及願出候也

年　月　日

氏　名　㊞

所轄警察署長　宛

愈今夜講演會

（全滿記者聯盟代表北支皇軍慰問報告　西廣場俱樂部にて）

外相の演說に米朝野好感

【ワシントン五日發國通】廣田外相の議會演說は時節柄米國でも注目を惹き、各紙に大々的に報道されたが、當地外交消息通は外相の演說は日本の立場を適確に表現したものとして好感をもつて迎へてゐるが、廣田外相が日本は支那の排日感情を撲滅するまで徹底的に膺懲するとの決意を示した點に特に注目してゐるやうだ、一方支那側の宣傳は日を逐つて露骨となり、あることないこと盛んにデマをとばしてゐるが、支那側のデマになれてゐるので米國政府も市民も比較的冷靜に推移を見守つてゐる

察東蒙古の滿軍へ日本から慰問獻金

察東蒙古高原の砂塵を蹴つて勇躍國土防衛の戰鬪を續ける滿洲國軍將士に對し盟邦の堅き契りを結ぶ日本國民が一致して巨額の慰問金を贈るといふ日滿兩國民の深く堅い友誼を立證する力強い感激的なニユース、六日午前十時關東軍司令官代理として小林大佐は國務院に張國務總理を訪れ皇軍と協力第一線に戰ふ國軍將士、國境警察の方々への慰問金として日本國民から託された金ですと金十萬圓を傳達、懇ろな慰問の言葉を述べたが、張國務總理は、さきには軍司令官から南滿水害罹災民に對する見舞を受け、今またこの殊のほかの好意に心から感激、直ちに治安部大臣を通じて全軍將士にこのことを傳へその士氣を鼓舞することを約した、この慰問金はさきに東京日日、大阪每日の兩新聞社が全日本國民から募つた巨額の皇軍慰問金の一部を特に「滿洲國軍警慰問のために」と陸軍省を通じ關東軍に傳達を依頼したものであつて、皇軍慰問のため關東軍に擧つて獻金を申出でたのと相俟つて今次事變に咲いた日滿兩國修好の麗はしい語り草である

エストニア新憲法制定

當地某所に達した情報によれば、エストニヤ國民黨憲法制定會議は新憲法を制定し、エストニヤにおけるファシスト獨裁を決定した、新憲法によれば、ファシスト黨員は無限の權力を取得し、大統領は議會解散、政府任命、法律停止議會召集の權限を附與されることになつた

地中海沿岸の關係諸國會議

英佛の提唱で招集

【ロンドン五日發國通】英佛兩國政府は地中海航行の重大化にその安全を確保する目的をもつて地中海沿岸關係國會議を招集するに決定した、英佛兩國政府は會議の重要性に鑑みドイツ、ソヴイエト兩國政府に對しても招請狀を發するに決定したといはれるが、會議に參加を豫想される諸國は英佛兩國のほかイタリー、ドイツ、ユーゴースラヴイア、ギリシヤ、エジプト、トルコ、アルバニヤ、ルーマニヤ、ブルガリヤ、ソヴイエトの諸國である

獨逸國民の親日熱

加速度に昂揚

【ベルリン五日發國通】日支事變に對するドイツ國民の關心は日と共に昂つてゐるが、ナチス黨や全新聞が日本の立場に頗る同情と好意をもつて啓蒙に努め、從つて日本に對する國民の同情と關心更に加速度的に昂りつゝある、わが大使館、陸海軍武官室には階級年齡を問はずドイツ國民から感激の文字や詩が每日幾つとなく殺到してゐるが、何れも日獨關係强化のために悲壯な決心を現してゐないものはない、ナチス黨自動車隊の〇〇隊長レーマン少佐は四日參戰の希望を次の如く述べて來た

我は友好國の防共戰線に從軍の希望を制し難く玆に敢て〇〇閣下に從軍許可願の一書を呈す

又ミユンヘンからは五十一歲の老人シユミツト氏が烈々たる文字を連ね日本とドイツの親善關係のために一生を捧げだたい覺悟と從軍を切願して來た

更にナチス黨〇〇部〇〇係長ミユーラー君は日本精神讚美の詩を寄せ、しかも同君は最後に

たゞ言葉のみに終らうとは思はない、私はこの感激を行動に移す決心です

と千金の重みある一語を附加してゐる、この邦譯一節は次の通り

一、あゝ日本よげになれは燃ゆる爆彈肌につけ進む魚雷に身を埋め敵めがけて驀進す

二、あゝ日本よげになれは盡忠無双の武士よ烈々たる烈火の熱と意氣勝利の榮光なれにあり

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金八千九百〇一圓四十八錢

一慰問袋　六百九十六個

一千人針　九枚（關東軍司令部へ）

一金四百十圓（駐滿海軍部へ）

累計　九千三百十一圓四十八錢……九月五日迄の分……

商況欄（九月六日）後場

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
東新	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
日產	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	[illegible]	—
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
五品	—	—
豆新	—	—
滿鐵	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
電甲	—	—
滿毛	—	—
日晉	[illegible]	—

新京取引況市

現物（一石値段）

品目	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	[illegible]	—	二車
米高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	[illegible]	—	一車

先物

品目	寄	引	出來高
●大豆 八月限	—	—	—
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]車
十月限	[illegible]	[illegible]	八車
十一月限	—	—	—
●高粱 九月限	—	—	—
十月限	—	—	—
十一月限	—	—	—

手形交換高（六日）

[illegible]

支那事變日誌

七月七日盧溝橋事件に端を發した北支事變はその後上海をはじめ中南支に波及遂にわが居留邦人は支那全土より引揚ぐる事態に立到り、この間わが皇軍は陸に海に空に海陸協同して暴支膺懲の正義の戰ひに輝かしい武勳を樹てゝ皇軍の威力を中外に發揮しつゝあるが、事變發生以來早くも滿二ケ月、こゝに輝かしいわが戰績を顧みよう

發端！ 盧溝橋事件

七月七日―午後十一時四十分 北平郊外盧溝橋で夜間演習のわが軍に對し第廿九軍馮治安麾下の部隊より突如不法發砲、今次事變の導火線となる

七月八日―彼我兩軍再び銃火を交えわが軍龍王廟を占據 北平、天津に戒嚴令布告さる

七月九日―午前二時兩軍撤退交渉成立、支那軍は午後零時廿分永定河右岸に一部撤退完了

七月十日―八寶山の敵と龍王廟のわが軍との間に小戰鬪あり、南京政府逆捻ぢ的抗議提出

七月十一日―宋哲元、わが支那駐屯軍より提出せる要求三項目全部容認に決す、南京政府は責任回避を聲明すると共に中央軍に進擊を命ず、帝國政府派兵決定、同時に聲明を發す「北支事變」と稱することに決定、第三艦隊警備に就く、香月淸司中將支那駐屯軍司令官に補せらる

七月十二日―中央軍北上開始 兩陛下葉山より還幸啓

七月十三日―彼我兩軍馬村において衝突、帝國政府支那の抗議を一蹴す

七月十四日―南苑で小衝突、川越駐支大使天津着

七月十五日―北平在留邦人に「引揚げ勸告」下る、內地派兵決定、緊急地方長官會議召集

七月十六日―安平にて約百名の支那兵武裝解除

七月十七日―支那軍の全面的戰時編成なる、帝國政府南京政府に覺書手交

七月十八日―宋哲元、香月司令官に正式陳謝

七月十九日―平漢線元氏―順德上空にてわが偵察機射擊され盧溝橋にも小競合ひあり、わが駐屯軍重大聲明を發し又大使館附喜多武官より南京政府に最後的警告をなす等、事態漸く重大化の兆見ゆ、蔣介石事變以來最初の聲明を發す、許世英支那大使歸任

事件擴大 宛平縣及郎坊 廣安門事件

七月廿日―盧溝橋に砲火轟きわが軍宛平縣城猛攻開始、蔣介石廬山より南京に歸る

七月廿一日― 宋哲元の命により卅七師撤退を開始したが宛平縣城の支那軍撤退を肯んぜず、松井機關長抗議を提出

七月廿二日―宋哲元停戰を南京政府に報告し南京政府は協定を承認に決定

七月廿三日―卅七師の撤退續く

七月廿四日―中央軍熊斌參謀次長北平に入る、卅七師の撤退捗らず

七月廿五日―熊次長冀察首腦と會見即日退京日支軍郎坊において衝突、支那軍は張自忠の卅八師

七月廿六日―午前八時わが軍郎坊を占領、香月司令官最後通告を發し日支の全面的衝突不可避となる、わが陸軍飛行隊事變以來最初の爆擊に偉功を樹つ、同夜廣安門事件勃發

戰鬪開始（通州事件）

七月廿七日―通州駐屯廿九軍獨立卅九旅の約八百名を武裝解除、不安北支を蔽ひ北平の邦人籠城開始、宋哲元一切の公職辭任を通告するとゝもに對日宣戰を通電す

七月廿八日―支那駐屯軍は宋哲元に對し最後通牒を手交わが軍より一齊に攻擊開始南苑の敵兵營、西苑、牛房淸河鎭を占據す、商船長安丸大沽附近で射擊さる、中央軍長辛店に達す

七月廿九日―馮治安軍及び保安隊北平城內より撤退、わが軍黃村宛平を占據、天津市內で日支軍の衝突惹起、市街戰激烈、邦人紡績工場襲はる、わが空軍をもつて天津市要所を爆擊、平津一帶を完全に占據す、長谷川第三艦隊司令官重大聲明を發す、午後六時通州保安隊突如叛亂を起し冀東政府を襲擊、邦人多數を虐殺す

七月卅日―北平治安維持會成立、わが空軍通州を爆擊、冀東政府殷汝耕長官の健在發表天津に戰鬪續き、わが軍西沽、大沽を占領中央軍急遽北上す

七月卅一日―池宗墨冀東長官代理を命ぜらる天津治安維持會成立、中央政府蔣介石に臨機措置の權限一任

八月一日―天津治安維持會成立委員長に高凌霨が決定、天津山海關鐵道開通、張家口領事館引揚完了、汪精衛北支の時局に關し重大聲明を發表す、南京の空氣頓に惡化

八月二日―北苑駐屯阮玄武の獨立三十九旅の武裝解除

八月三日―冀東政府北平に臨時辨事處を設け執務を開始

八月四日―皇軍北平に入城、又平漢線開通、內務省全國地方長官宛出征者家族救護通牒を發す

八月五日―漢口、濟南の排日激化

八月六日―張自忠冀察政務委員會代理委員長辭任、平津線開通、南京に全國國防會議開催、支那軍漢口包圍、我が居留民引揚げ開始

八月七日―張自忠北平市長及び綏靖主任代理を辭任、冀察政務委員會解體、川越大使上海着、漢口邦人引揚げ完了

八月八日―各部隊北平入城、〇〇部隊長日本軍入城司令の名をもつて治維に關する聲明を發表、漢口、九江、沙市、南京、蕪湖等長江筋在留邦人引揚げ完了（續）

總督府の朝風丸
ソ聯監視船に不法拿捕さる
當局、事件を重大視

【淸津國通】ソ聯警備船は沿海州沖において暴戾の極を盡し朝鮮漁船の不法拿捕事件を頻發してゐるが、五日午後一時過ぎ圖們江沖合で本邦漁船保護の任にある總督府水產課保護取締船朝風丸（一二四噸）はソ聯監視船のため不法拿捕された

ソ聯の不法は分明
白洋丸船員歸港談

沿海州方面に出動中の咸北水產試驗船白洋丸は六日朝風丸不法拿捕當時の狀況を齎し歸港したが、みぎによりソ聯官憲の不法が明かにされた、すなはち

五日午後一時四十分頃朝風丸が圖們江東南を航行中突如ソ聯監視船二隻現はれ停船を命じ、不法にも數名の武裝監視官が朝風丸に乘込んで來たので、その不法なる拿捕に對し朝風丸は極力抗辯したが、彼等は何等理非を辯へず、こゝに悲壯な決意を固めソ聯監視船二隻に嚴重監視され北へ向つて航行したと目擊の漁船員は語つてゐるこれ等の實狀より推し朝風丸はウラジオに連航された模樣である

ソ聯總領事に 嚴重抗議

【京城國通】總督府漁業取締船朝風丸の拿捕事件に關し總督府では事件を重大視し外務部より直ちに事件の詳細を外務省に報告ソ聯に對し釋放交渉方を要請するとゝもに六日午前十一時宋外務部事務官は小田通譯官を帶同京城駐在ソ聯總領事アイシン氏を訪問朝風丸の不法拿捕に關し嚴重抗議するとゝもにこれが釋放方を要求し、この旨本國政府に傳達方を依賴した

錦州省內 水害調査 二日までに 判明の分

八月上旬二回にわたり錦州省下を襲つた豪雨は人畜は勿論家屋農作物等に多大の損害を與へたが、九月二日までに判明せる損害程度は錦縣內に最も多く人畜の死傷のみでも死亡十七、負傷十、行方不明二家畜斃死千四百八十六、家の被害浸水三萬四千、半壞一萬二千百六十七、全壞一萬百八十五その他耕地被害浸水五萬九千三百卅九天地、流失三百六十天地にして、錦縣を除く全省內の被害は

家屋（戸）	浸水	一八、三〇六
	半壞	一三、八四〇
	全壞	七、二四三
人畜	死亡	六二
	負傷	一一
	行方不明	一八
	家畜斃死	四〇九
耕地（天地）	浸水	三二七、五三三
	流失	一、八四〇

而して嘉安、盤山、黑山各縣の如きは現在なほ浸水のまゝとなつてゐる個所多く確實なる調査未了であり全部の調査終了せる際はなほ相當多數の被害判明をみるものと豫想されてゐる

間島省々民大會 感謝文決議

間島省々民大會において決議された感謝文つぎの通り

△感謝文

東亞永遠平和を冀念し隣邦支那四億の民衆をして軍閥と共に赤黨の魔手より救出し、興亞の宏業達成のため凡有る困苦を忍び遠く支那各地に轉戰奮鬪せられつゝある日本軍將士の御辛勞に對し間島省民一同滿腔の敬意と深甚なる感謝の意を表す

康德四年九月五日 間島省省民大會

關東軍司令官殿
北支駐屯軍司令官殿
第〇艦隊司令長官殿
上海派遣陸軍部隊殿

△感謝文

東洋平和の確立と民國軍閥膺懲のため支那各地に聖戰を進めたる日本皇軍の行動に順應し國內治安の維持と國境警備のために日夜各地に奮鬪せらるゝ國軍將士の御勞苦に對し滿腔の敬意と深甚なる感謝の意を表す

康德四年九月五日 間島省々民大會

治安部大臣殿

宣言文

間島省々民大會において決議された宣言文全文次の通り

明朗東亞の實現と道義世界の建設は友邦日本帝國の確乎不動なる國是にして亦わが國の大理想なり

然るに頑愚暴戾至らざるなき南京政府は世界人類の敵たる國際共產黨の魔手に踊らされ支那四億民衆をして塗炭の苦に陷し入らしめ更に反滿侮日に終始し、遂に今次事變の勃發を見るに至れり、友邦日本帝國は隱忍自重終始一貫平和解決に努めたるにも拘らず却つて益々挑戰し來り不法暴虐の擧に出でたるをもつて斷乎これを膺懲し不幸なる支那民衆を救出し東亞永遠の平和を確立せんと決意するに至れり、われらは本日茲に間島省々民大會を開催し日本皇軍に對し銃後の熱誠と感謝の赤誠を披瀝すると共に日本政府を絕對支持せんことを宣言す

右宣言す

康德四年九月五日 間島省々民大會

滿洲製絲公司
近く滿洲國より認可
今秋より生產開始

內地紡績業者の滿洲へ進出せんとする傾向が現れ滿洲國政府へ滿洲國法人による會社設立の認可を申請し來るもの相當あり、これに對して滿洲國政府が如何なる態度に出るか注目されてゐる折柄、滿洲製絲股份有限公司が近く生產を開始することに決定し製絲業興隆の第一歩を踏出すことゝなつた、右滿洲製絲股份有限公司は昨年中に日本法人として設立し瓦房店の附屬地に工場を設置、本年五月滿洲國政府より企業經營の許可を得たもので目下公司設立の認可を申請中であり遠からず認可を受ける豫定であるが、會社資本金二百萬圓で社長には帝國製絲の村井貞之助氏が就任してをり今秋より生產を開始して年產カタン絲五十萬グロス及び撚絲一萬梱を出す豫定である、しかして滿洲國政府としては右公司が滿洲國重要產業統制法施行前に日本法人として設立した上滿洲國の企業經營許可を得てゐるので當然公司設立の認可をも與ふることゝなるのであるが、製絲業は國家的に重要生產品である上日本の業者との關係もあり今後他の會社の設立に對する認可については相當愼重を期するものと見られる

大連日淸兩汽船の四隻 大連航路に配船

【神戶國通】海運自治聯盟では船舶需給關係調整の第一着手として三日左の如く決定、それぞれ契約を了した

一、大連汽船の大連、靑島、上海航路は支那事變により停船の已むなきに至つたので、同社の客船奉天丸、靑島丸、大連丸の三隻を大阪商船の委託配船とし來る十日までに受渡しを完了の上大阪商船の大連定期航路に繰入れること

二、日淸汽船所有船七隻はさきに支那側に擊沈されたが殘り七隻も停船狀態にあるの際で取敢へずその中貨物[illegible]てのせしめること

讀者の領分

（投稿歡迎 中傷不可）

火の玉飛ぶ

九月一日は市京震災紀念日である株に近時國家非常時で秋の日早朝來から神社參詣人が多かつたが此日は早包き星をいただいて參詣した、時間は大凡四時三十分頃であつた忠靈塔の方向に當つて空中に大音がした、その方向を見ると盥大の火の玉が西南に向つて大速度で飛んだ、靑赤い尾を引いて居たがその速度は實に例へかたなきほどであつた、已に夜明けて火の玉を見ると云ふことは不可思議である。曾つて日露戰爭の時龔壷に大音をあげて火の玉が東方から西に向つて飛んだことがある此の事實は今尙ほ耳に新しく殘つて居る。國家非常時には實に不思議なことがある。萬人これを稱して神靈だと云ひ傳へて居るが自分はこれが理由を知らない然れども靈あることを知る、我が忠君愛國の士また、皇國の爲めに犧牲となつた、英靈は泉下に鎭まる時にあらず護國の鬼となつて天かけり東奔西走我が皇軍の魁となりを護りさきはへ給ふ尊き悉ならずやと信ずるのである、此の事實を我れ獨り見たるかと思ひの外不動の行者谷脇法顯君も每朝早天より關東軍及び忠靈塔、新京神社等に廻り御祓に御祈念をして居るが同時刻に火の玉を見たもと云ふことである、谷脇君が時刻稍々過ぎて神社に來て十四五になる男の子は逢ふて火の玉の話をしたがその小供がこの話を此の餉にも聞いたとのことであつたと不思議中の不思議であるゆめ／＼疑ふなし、國家非常時には英靈天かけり護國の鬼となり或は七たび生れて皇基を護らむと我等は生きて邦家の爲めに一身を捧ぐる之れ此の秋なるか滿天下に告げん （野中貞范）

出征將士の 武運長久祈念式 齊々哈爾で擧行

出征將士に對する銃後の後援はますます白熱化しつゝあるが、齊々哈爾居留民會では六日午前七時より齊々哈爾神社において日本人多數出席裡に出征將士の武運長久祈念式を擧行八時半嚴かに式を閉じた

競馬
坦々たるレース
大穴は快々の八十三圓
秋季競馬第七日目

新京競馬秋季第二次の第七日目は優勝を翌日に控えての前日競馬に平日稀れに見るファンに埋まり、全レースを通じて番狂せも餘りなく第六競馬にて快々（淸水騎手）八十三圓十錢の大穴をあけ、最後の第十二レースには一天（脇山騎手）三十三圓卅錢といふホドヨキ穴を出していよ／＼待望の優勝レースを今日に迎へた今日こそ秋第二次の最終競馬榮冠を目指して力の限り追ひ盡されるのである、駿馬よ健在なれ、華やかな秋第二次の掉尾を飾る優勝戰こそファンの期待にかけられる一戰で、早やくも人氣は勝馬一本の豫想に飛び廻つてゐる、尙第七日目に於ける成績左の如し

▲天候晴時々曇 ▲馬場良 ▲入場人員 一、六九四名 ▲馬券賣上高 五八、一一五圓 ▲搖彩票 一二、四三〇圓

〇

▲第一レースは餘程のチャンスなき限り公山の一は確實視される

▲第二レースは馬品はないが日昇旗の一といふところであらう、穴馬としては惠があるが、七日目の脚では覺束ないと思ふ

▲第四レースは新古外馬の優勝で奉天若虎の一本は問題ないとして、橫濱、金駒の追込みがどの程度まで肉薄するかに興味がある

▲第五レースは三流同格馬揃ひの競馬で一寸豫想に苦しむが新朝風が立直つて居れば一は動くまいがどちらにしろ冒險的豫想である、大岩、榮隆の脚が順調なら新朝風はゴール前で打棄られるかも判らぬ

▲第六レースは優勝以上に興味のある競馬である、二日叩きのきく金大川、初日によき飛びをする金箔、二千米に於ては相當活躍した勝駒、重量苦ではあるが、最後の脚速に自信のある赤穗と文字通りの熱戰を豫想される、こゝでは金大川の一は大體に於て期待出來やう

▲第七レースは先づ陸王がトップで逃げると思ふが第三羽衣のラストの脚にかゝつては到底逃げ通す事は出來まいと思はれる

▲第八レースの新旭は一着に豫想されるが、新勝が（七七）の重量を持つて順調なる追込に効を奏せば反對に着順はなるかも知れぬ、然し第二矢風の七日目に於けるる脚が非常に注目されたので案外面白い競馬に番狂せを演ずるかも判らんと思ふ

▲第十レースは秋抽優勝馬の決戰で來北は何れの點から見ても本命と目される、結局二着爭ひが行はれるものと思ふが今季メキメキと力量を發揮し始めた高風と秋一次優勝馬の吉生によつて物凄いせり合がされるのではなからうか

▲第十一レースは抽古優勝レースで第二飛龍、堅城、八二によつてカップ爭奪戰が演ぜられやう

▲第十三レースは新長、金翔の喧嘩とならう、しかし今季不振ではあるが哈克登の穴を見逃すことは出來ぬ

出馬及び勝馬豫想

▲第一抽古二、〇〇〇米
一 轟 五九 田中
二 丹友 五六 內田
一着 三 公山 五四 落合

▲第二抽古方變二、〇〇〇米
一 惠 五七 梶原
一着 二 日昇旗 六〇 久保田
三 菊香 五四 于連魁
四 泉山 五八 新原

▲第三抽古二、〇〇〇米
一 開進 六五 有吉

▲第四新古外馬優勝二、四〇〇米
一着 一 奉天若虎 六〇 梶原
二 橫濱 六五 上原口
三 美光 五四 吉滿
四 金駒 五四 甲斐（均）

▲第五秋抽一、八〇〇米
二着 一 大岩 五九 前田
穴 二 榮隆 五七 谷尾
三 辨天 五七 吉滿
一着 四 新朝風 六〇 田中
五 新福 五六 上原口
六 第二雲風 五八 有吉

▲第六抽古二、〇〇〇米
一 赤穗 六九 內田
穴 二 八萬 六四 久保田
二着 三 勝駒 六三 落合
一着 四 金大川 七〇 前田
五 金箔 五五 吉滿
六 新北斗 五八 高尾

▲第七秋抽一、八〇〇米
一着 一 第三羽衣 六〇 脇山
二 勇力 五五 久保
二着 三 陸王 五三 谷尾
四 山心 五一 上原口
五 光旭 五三 久保田

▲第八抽古一、八〇〇米
一 一二三 五七 上原口
二着 二 第二矢風 五五 淸水
一着 三 新旭 六二 久保田
四 松影 六〇 前田
穴 五 新勝 七七 甲斐（均）
六 生花 六二 久保
七 公富 五六 落合

▲第九抽古一、八〇〇米
一 夕風 五七 落合
二 黑墨 六四 上原口
三 秀輝 六二 脇山
二着 四 英新 六二 吉滿
穴 五 長春 六〇 梶原
六 金來 五六 于連魁
一着 七 舞鳥 六五 新原

▲第十秋抽優勝二、四〇〇米
一 華王 五七 新原
二着 二 吉生 五八 濱崎
三 拉麗德 五八 久保田
一着 四 來北 五七 高尾
穴 五 高風 五八 田中

▲第十一抽古優勝二、四〇〇米
一 精養軒 六〇 久保
二着 二 堅城 六四 新原
一着 三 第二飛龍 六五 田中
穴 四 八二 六三 甲斐（均）
五 廿王 六四 久保田
六 舞姬 六五 梶原

▲第十二抽古障碍優勝二、四〇〇米
一 北龍 六三 吉滿
穴 二 若駒 六四 松本
三 若月 六二 梶原
一着 四 賽玉 六六 谷尾

▲第十三新古外馬二、〇〇〇米
一着 一 新長 六五 松本
穴 二 哈克登 五六 吉滿
二着 三 金翔 六〇 甲斐（均）
四 初瀨 五九 田中
五 新千鳥 五七 久保

第七日目成績

△第一競馬（二、四〇〇米、四頭）1若駒（三分三八秒）2若月 3新松綠、配當―單六圓七〇、搖彩1四六圓九〇、等外三圓九〇

△第二競馬（二、二〇〇米、六頭）1大江戶（三分六秒一）2金大川 3武勇、配當―單二四圓三〇複1一三圓2一六圓、搖彩1八九圓六〇2二圓四〇等外七圓

△第三競馬（二、〇〇〇米、五頭）1愛國（二分五五秒）2甲子、3泉山、配當―單一三圓、複1七圓五〇、2一六圓三〇、搖彩1一三〇圓五〇、2三二圓六〇、等外一三圓六〇

△第四競馬（二、二〇〇米、三頭）1金華（三分二四秒二）2觀雄、3興安嶺、配當―單七圓六〇、搖彩1一一〇圓九〇、等外一三圓八〇

△第五競馬（二、〇〇〇米、三頭）1蘭香（三分四秒三）2丸八、3公月、配當―單八圓五〇、搖彩1一五三圓六〇等外一九圓二〇

△第六競馬（二、〇〇〇米、八頭）1快々（二分四六秒一）2一二三、3千代駒、配當―單八三圓一〇、複1一一圓五〇、2六圓八〇、3六圓三〇、搖彩1五五圓五〇、2一五七圓七〇、3七九圓三〇、等外三九圓六〇

△第七競馬（二、〇〇〇米、五頭）1金英（二分三〇秒二）2麗瀧、3英貫、配當―單一五圓二〇、複1八圓八〇、2一八圓、搖彩1二六八圓八〇、2六七圓二〇、等外二八圓

△第八競馬（一、八〇〇米、六頭）1趙麟程（一分三九秒一）2第三羽衣、3新光玉、配當―單六圓八〇、複1五圓八〇、2八圓八〇、搖彩1三〇九圓七〇、3七七圓四〇、等外二四圓二〇

△第九競馬（一、八〇〇米、五頭）1三初（二分三四秒三）2舞鳥、3矢鮮、配當―單八圓、複1五圓一〇、2五圓二〇、搖彩1三四五圓六〇、八六圓四〇、等外三六圓四〇

△第十競馬（一、八〇〇米、六頭）1蓼（二分三〇秒）2公山 3秀輝、配當―單九圓八〇、複1六圓六〇、2八圓七〇、搖彩1三六八圓二〇、2一圓一〇、等外二八圓八〇

△第十一競馬（一、八〇〇米、二頭）1紅燕（二分三八秒四）2大岩、配當―單八圓四〇、搖彩1二四七圓四〇、等外六一圓八〇

△第十二競馬（一、八〇〇米、七頭）1睦月（二分三一秒三）2英新、3長春、配當―單一一圓七〇、複1七圓一〇、2六圓三〇、搖彩三四五圓六〇、2八六圓四〇、等外二一圓六〇

△第十三競馬（二、〇〇〇米、七頭）1一天（二分三九秒）2新長、3金翔、配當―單三三圓三〇、複1二〇圓二〇、2一二圓六〇、搖彩1三三五圓三〇、2八三圓八〇、等外二〇圓九〇

トマト

喰べ飽きたら處分して貯藏

壜づめて一年は大丈夫

ちよつと慰みに……と五株か六株植ゑたものさへ、毎朝の食膳では食べきれず、飽きたからとて棄てておいては無駄になるし、どう處分してどう保存したらよいものかこの幾りのお暑さではトマト畑に出たりまた面倒な細かい處置も出來ますまいから、出來るだけ簡單な方法を申上げませうまづ畑からとつて來たトマトに熱湯をかけ

一個々々皮を

むいたものをごく薄い食鹽水につけて貯藏壜に詰めるのともう一つはトマトを自家の台所にある蒸し器（御飯蒸しで結構）に入る程のザルに入れその下に丼か何か汁の受け器をつけて蒸し器に入れて蒸し蒸れたらトマトの方は潰して裏濾しでこしておき、丼にたまつた汁は半分か三分の一位の量に煮つめ、先に裏濾しにしたものと一緒にして貯藏壜に詰めます。かうして置けば兩者とも

半年でも一年

でも大丈夫保管出來ます。西洋ではこの二番目の方法を「トマトピューレ」と云つて、四季時を選ばずスープやソース等に使ひますので、どこの家庭にも幾壜も保存してあるものです。貯藏方法は陸軍糧秣廠で考案した「家庭貯藏壜」が最も手輕で便利です。値段も一個二リツトル入が五十五錢、一リツトル入が四十錢、半リツトル入が三十五錢だそうで、時々口の換ゴム（一個三錢）を取り換へれば、永久的に使へるのですから安い家庭用品だと思ひます。

貯藏の方法は

前述の通り出來たトマトを壜に收めたらばそのまゝ御飯蒸しに入れて七分目位に水を注ぎ、熱湯にして二十分間位蒸せば、ひとりでに殺菌排氣されて立派な壜詰めが出來上ります。

しかしトマトは出來るなら、今の新鮮なうちにうんと食べて置くのが最もいゝのです。既に色々調理された事でせうが、それらの方々のため、おいしい喰べ方を二つ三つ申上げませう。

フライドトマト

皮つきのまゝトマトを二分位の厚味に輪切りにし、砂糖と鹽をふりかけ、胡椒を加へたメリケン粉にまぶしてバタでいためる。他の御惣菜のつけ合せに申分ないものです。

トマト・スープ

三人分としてトマト百匁（約四、五個）バタ中サジ一ぱいメリケン粉中サジ一ぱい、牛乳コツプ一ぱい（約一合三勺位）玉ネギ少々、鹽茶サジ一ぱい、重曹少量、胡椒少々、トマトは生のまゝつぶして裏濾しにしておく、別な鍋にバタを溶かし、おろし金でおろした玉ネギとメリケン粉を加へてよく練り、それに牛乳をあたゝめて加へ、粒々の殘らぬ樣によくまぜておく、前に述べた裏濾のトマトは、別の鍋で煮立て、重曹を加へてよくかきまぜ泡が立つて來た時に前に用意の牛乳と一緒にして胡椒と鹽で味をつける。このスープのコツは、鹽の手加減一つにあり、鹽がすくないと味が引立つて來ません。また牛乳の代りに骨つきの鶏肉でとつたスープを使ふのもいゝですが、牛乳を使はない場合には重曹を用ゐる必要はありません。

マンガ左膳 のらくろ君

ハハハ、センセイモ、アシガイイ、アタマガイイナ。シメシメ、ロガツイテヰルゾ

フネハ、ロデヤル、ロハ、ウタデヤル、エイサ、ヨイサ。

コラコラ、ノンキニウタツテヰナイデハヤク、コツケヘ

ツヅク

マンガ丹下左膳

センセイ、モウナツチヤ、コマリマス コレデモワセダノジダイロハセンシユダッタンデスヨ

ナカナカウマイナ

ココデオリテ

マタサクセンタイトハヤガハリスルンデスカイ

ツヅク

小鯵の風味は生にある

一番旨い料理法

味覺の尖兵

▲―その一 胡麻酢

小鯵は常の如く三枚に卸し薄鹽をあて小骨を取り卅分間ほど置き次に白胡麻を煎り良く摺り潰し、充分に油の出るやうになつた頃、御飯を二割加へなほ摺り潰し、右の御飯の姿がなくなるまで摺り、次ぎに味淋、白酢同割にした品を、胡麻の三倍ほど火に掛けて冷し、右の胡麻へ少々づつ入れてだまの出來ぬやうに仕上げ裏濾しにかけて鹽少量加へ、味を取り、前述の小鯵は五分間酢に漬け、皮を剝ぎ、適宜に切り、右の胡麻酢を掛けて供す。つまとしては胡瓜、若荷、鴫茄子、ずゐき等が最も良い。

▲―その二 生姜酢

前述の如く小鯵は三枚に卸しうす鹽を當て小骨を取り鹽のなじむ間（約三十分間）くらゐ置き、酢洗ひして皮を剝ぎ皮は上の方の頭を切り落した切り口の個所を、身と皮とをつまんで剝げば良く取れます右は銀皮の方を上として、切れ目を二三入れ、片身二つに切り、一人前六切れくらゐにしその千切にしたのを添へ生姜卸しに山吹酢、醤油、同割にして頂きます。

▲―その三 南ばん漬

小鯵は前述の如く三枚に卸しうす鹽を當てゝおく、次に、玉葱を微塵切りにしてサツと茹で、氣上げに致し冷しておく、次に白酢と味淋を同割に致したものを一度火に掛け、冷しておく、次に最初の小鯵を水洗ひして酢洗ひし、皮を剝ぎ用器に並べ、玉葱の微塵を小鯵の上へ、ほの厚味ほど降りかけ、次に味淋酢の中へ鹽少量加へ、靜かに玉葱の流れぬやうひたひたに入れて一時間ほどおいて供す。

柳樹屯より

新京中學臨海生活記錄（上）

ゴトンと汽車は止つた。今まで、うらうらと夢見る樣な氣持で讀みあきた本に腕をもたせてぼんやりあたりを見廻してゐたが「もうどこかな」と思ひながら窓を開けた。涼しい涼しい。何ともいへない涼しさだ一度に目がさめてしまつた。プラツトホームのうす暗い電燈が靜かに光を投げてゐる。人影は見えない。汽車は靜かに煙を吐いてゐる。どこからともなしに虫の音が聞えて來る。やがて汽車はこの靜かな驛を出て行く、シグナルの靑い光が後へ行く。ふと目を上げると、東の空が白んで山の姿が黒くはつきりと見える。星の數がめつきりへつて來た。殘月がさびしく照らしてゐる。本も讀みあきて窓外をながめると

靑綠の木立、薄黑い山影、小さな小川

これ等にかゝつてゐる薄い霧、山の頂の方は霞んで見えない。この美しい景色の中を汽車は刻々關東州に近づいて行く。明るい陽は車窓よりさしこんで來た。車外はと見れば靜に波打つとうもろこしの畑。その畑の向ふに廣々とした海がきらきらと光つて居り魚船は帆をはり、靜かに進んで行くこちらにあるのは鹽田であらう。

汽車はもう一息だもう一息といひながら走つてゐる。やがて三十里堡につく。リンゴ畑がずうつと廣がつてゐるのが見える。靑い實がすゞなりになつてゐる。金州附近で大和尙山を見ようとしたが雲にかくれて見えない。僕等はもう荷をかたづけていつでも下車出來る樣にした。やがて七時四十分大房身驛につく。しばらく休憩をして柳樹屯に向ふ。峠の上で振かへつて見ると金州灣が一目に見渡せる。鹽田があちこちに見える。沖の方はぼうつとしてはつきり見えない。陽は朝からかんかん照りつけてひたひは汗ばんで來る。しばらくして木蔭に休んだ時涼しい風のそよそよと吹きなびかす草むらに虫の鳴きつゞける音も聞えるはるか前方には無線電信塔が幾本となくそびえてゐた。やうやく宿舍についた。皆くたびれてしまつて汗をびつしよりかいてゐる。先生の色々の注意があつて今から臨海生活を始めるんだと勇みながら宿舍の中に入ると驚いた。それは馬小屋なら好い方だが豚小屋のやうなので皆變な顔をしてゐた。荷物をかたづけると皆父母の許へ無事安着の手紙を出す。やがて晝食ともなれば僕は炊事當番だ。皆がうまいうまいといつて食べる。皆つかれてゐたので午睡の時間はぐつすり眠つて何の音も聞えない。

「チヤランチヤラン」と鐘の音、はね起きるとすぐふんどしをして外に出る「集れー」と班長の聲。先生の色々の注意があつて海岸に向つた。大波小波の押し寄せて來る中で水泳練習をする。沖の方には漁船が浮んでゐる。やがて水泳練習を終へて、宿舍に歸り休んでゐると、お八つをもらつた。皆が爭つて取るので忽ちバケツの中はからになる。六時半になると夕飯を食べる。つかれてゐるのか、料理の仕方が上手なのかしらないけれどもとてもおいしかつた。夕食後海岸へ散歩に行つた。潮はずーつと引いて海面から少し頭を出して波に洗はれてゐた岩も大かたあらはれてゐる岩の上をぴよんぴよん飛んで行くと「小魚」、「宿かり」が逃げて行く。誰かゞ「たこ」をつかまへた「うに」や「なまこ」もつかまへた。夢中になつて遊んでゐると、日はとつぷり暮れて波の音がものすごくなり月は低く下りて月は見えない。

陽はもう早西にかたむき涼風は海氣をのせてとどろに來る

夜の海打よせる波ものすごく空は曇つて月は見えざり

宿舍に歸つて點呼を受け父母の事弟妹の事等を考へながら臨海生活第一日の夢を結ぶ。

（岡崎達也）

けふの番組

［M・T・C・Y 新京放送局］ 七日（火曜日）

朝

六、二五 ニユース（東京）
六、三〇 ラヂオ體操、入港船のお知らせ
六、五〇 中等滿洲語講座（大連）
七、一五 講師 秩父固太郎（大連）
七、四五 朝の音樂（大連）
八、〇〇 建國體操
九、〇五 氣象通報（東京）
九、三〇 經濟市況（東京）
一〇、〇〇 家庭講座（大連） 非常時局に處すべき婦人の覺悟 羽衣高等女學校々長 岡田半藏
一〇、二〇 料理獻立（奉天）
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況（大連、新京）
一一、三五 經濟市況（大連）
一一、四〇 經濟市況（東京）
一一、五九 時報（東京）

晝

〇、〇五 晝の演藝（レコード）
〇、三〇 ニユース（東京、新京）
一、〇〇 經濟市況（大連、新京）
三、〇〇 經濟市況（大連、新京）
三、四〇 經濟市況（東京）
四、〇〇 ニユース
四、三〇 經濟市況（東京、新京）
四、三五 天候概況（大連、新京）
五、二〇 ニユース（鮮語） 唱劇調（鮮語） 三國誌中 李根秀 外一名

夜

六、〇〇 子供の時間 理科物語（九回）（東京） 光線 福田光治
六、二〇 コドモの新聞（東京）
六、二五 連續講演（仙台） 最近のナチスドイツ（一） 思想方面 高橋讓
七、〇〇 ニユース（東京） ニユース、告知事項、番組豫告（新京）
七、三〇 講演（天津） 一、北支那に於ける我空軍の活躍に就いて 二、陣中報告 アナウンサー 久保田思朗
八、〇〇 家庭コント（東京） 心一つで一家が光る 淸川玉枝外
八、二五 常磐津（東京） 恩愛瞶鬪守（宗淸） 淨瑠璃 常磐津若太夫 三味線 常磐津仲藏 外
八、五五 少女歌劇（大阪） 木村重成の妻 寶塚少女歌劇花組生徒 寶塚オーケストラ 木村重成 奈良美也子 お菊の方 雲野かよ子 外大ぜい
九、三〇 時報ニユース（東京） 氣象通報、ニユース
一〇、一〇 ニユース再放送 告知事項、番組豫告（新京）
一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇 滿語ニユース、講演、音樂 アナウンサー 宮岡（朝） 上森（晝） 佐藤（夜）

家庭コント

［後八・〇〇 東京より］ 淸川玉枝外

一、心ひとつで一家が光る 堀江林之助・作

ツクツク法師が鳴いてゐるといつては、無性に惡態をつく亭主であつた。ツクツク法師をとめるやうな大きな樹を庭に植えておくのがどだい間違つてゐる。晝寢を妨げられた口惜しさに、そんな無理を女房に言ひかける亭主。「こちとらは、防護團員の一人で、朝早くから飛び起きて、手前の仕事にかゝる前に、萬歳！萬歳！をやつて來てをるのだ」女房が、晝寢なんかするのが惡るいと突つ込んだのに對するこれが亭主の返報ではあるが、女房自身、私だつて國防婦人會の一員だ。でも、晝寢なんか、と逆襲したのに對しては、この亭主一言もない。それ所か、途端にガバと起きて、さて米の配達々々と意氣まく、が、肝心要めのシヤツがない。探すと隣家の干竿にかゝつてゐる。不審だどうも不審だ。女房は先刻自家の干竿につつかけて置いたのに、不審だ―そんなところに隣家の氣立のやさしい娘さんが現はれ、風に吹きとばされて、自分の家の庭に落つこちてゐたから、洗つて自分んちの干竿にかけて置いたとのこと。―その、ちよつとした親切心に、二人はすつかり感激する。

二、輕き通帳に重き信用 岡田禎子・作

大石勇君は、轉校生であつた。お父さんは、元は職工で、それが或る日工場で怪我をして左腕を失つて、それ以來、一家は、今の場所に引き移つて、煙草と文房具の店を、細々と經營しはじめたのだ。轉校生は學課がどんなによく出來てもクラスの者には馴染まれないので、存在を無視され續け、とても、級長なんかには選ばれつこはない。だのに或る二學期のはじまりの日、大石君が級長に選擧された。それは大石君の、かつて一家が比較的裕福であつた頃、五錢十錢と小遣を貯めてをいた貯金帳が、今にして物をいつたのである大石君は、貯へた三圓五十錢也を、すつかり軍用機に獻金した。それが、先生からは表彰されるしクラスには大石君の存在を注目せしめるやうな結果を生んだ。かくて大石君はお父さんからは失つた腕を得たよりもうれしいといはれるし、弟には萬歳！萬歳？とよろこんでもらへるし、それといふのも、みんな、輕いけれども、重い重い貯金帳のおかげであつた。

三、百の藏より內助の寶 村山幸世・作

山內一豐の妻は、今更改まつていふ必要もないが、話はそれに似た昭和現代の、或る家庭のユーモア―・コント―家賃が十七圓、米屋が八圓、酒屋、八百屋、魚屋計卅一圓二十八錢、主人の小遣いやいや小遣が十五圓の、洋服の月賦……主人はたうたう悲鳴を擧げるが、良妻は、ですぞ、良妻はかねて貯金箱に貯めて置いた五錢ばかりの貯金の山を取り出して米屋に支拂ふとする。その良妻の健氣な心に賞でゝではない。五錢のウズ高い小山に恐れをなして、米屋は、來月に一緒に頂くとて、歸つてしまふ。夫は妻を賞め妻は、照れ、內助ではなくナイシヨの功、と笑ふ。

四、愛せよ風景美化せよ國土 木村恒・作

そのお爺さんにいはすれば、二人のアベツコが、ハイキングでお山に登つた。見渡せば、彼方の峰に一人老爺、しず心なく若木を植えてゐる。それこそ屋上屋を架するの愚の骨頂と、若いアベツコは批評しながら、さて爺さんのところに行つて聞きたゞせば、由來日の本の吾國には、風景を愛し、國土を尊重するの醇風あり、といふ。だから、爺さんは、暇にまかせて、火を防ぐ神木、いてふを植えてゐるのだ。な、なるほど感心した二人は、以後、ハイキングには、きつと苗木を攜へて、それを山に植えることにするといふ。

少女歌劇

［後八・五五 大阪より］

「木村重成の妻」

寶塚少女歌劇花組生徒出演

小野晴通・作 竹內平吉作曲

重成の邸、けふは端午の節句わけて重成の出陣の日なればお菊の方の命であまた藥玉を軒につり下げ美しく飾り立ててある。乳母松ヶ枝速水大介侍女等を相手にいくさの噂にふけつてゐる。

合唱『男の節句ぞ菖蒲葺く今日ぞ端午の勇しき鎧の袖に初夏の風に の香と共に匂ひをくるや華かに角立四つ目旗じるし吹きこそ靡け藥玉の長き命は願はねど花のかほりはとこしへに語り草とはなりぬべき

勇しく立出た重成はお菊の方の淚一つ見せぬ健氣な覺悟に滿足して出陣する。

（菊） 君が門出をことほぎて に寄する眞菰ぐさ末長かれと見し世さへ今はた更にうらめしき

（大介） あかぬ別れを時鳥なくや五月のあやの草あやめも知らぬ戀ならで絶へぬ妹脊の仲なれど宿世短きうつし世の惜しみをいかにかこつべき

折から彼方に騷がしき跫音乳母松ヶ枝糺してみると忍びよつた一人の女性を怪しと見て郎黨が詰問してゐる。松ヶ枝その女を貰ひうけると重成の妹里姫が兄に今生の暇乞ひをすべく始めて訪ね來つたのであつた。重成は既に出陣お菊の方に引合せやうとするがお菊の方はわざと名乘り合はず認め置いた手紙を重成の許へ屆ける役を里姫に頼み松ヶ枝に供せしむ。

（菊） 池のあやめの根に咲くやひかれぬ袖は五月雨濡れこそまされ今はたゞ限りと見れば空さへも、皐月の闇の晴れ間なくほのかに名乘るほと、ぎす

里姫は大和川堤で重成に會ひ手紙を渡し兄妹の名乘りをする。手紙はお菊の方の遺書であつた。今生に思ひを絶つた重成嘆く妹を斥け凛然敵中に斬込んで行つた。

（蔭唄） 先に行かうか跡から行こかどうで命の一筋道よ泣いてくれるな山時鳥これも浮世の旅ぢやもの

常磐津 恩愛瞶鬪守

［後八・二五（東京）］

淨るり 常磐津若太夫 三味線 常磐津仲藏

「君命うけて宗淸は身をかたいとの夜の鬪守れば敵も夜嵐も矢たけ心の矢屛風に、陽巖しき板廂「降たる雪かな野も山も皆白砂と何か頭に積る雪寒にまけぬ宗淸が六原よりの上意をうけ左馬頭が枝葉の子供見付次第に首討と淸盛公の嚴しき掟、其制札に松を手折つて松を助くと內府重盛殿の詞を給ふは何樣心有りげな御諚、とにも角にも鬪守は咄相手のないので退屈睡魔をさける此兵書治世に亂を忘れぬ爲め彼孫康が雪明りどりや友人を聞て見やうか「故鄕を出しに增る淚かな「夢に分るゝ枕とは實定家が詠歌も「身に㚖竹の伏見なる知べのかたを尋んと、紫竹を出て跡や先「歩み習はぬ道芝の雪のつるぎに裳さへ紅ひさそふ照ぐさの今はゝかなき常磐の前悼しや今若と乙若君を兩袖に包めどあまる憂事の世を牛若は懷に氷る乳ぶさを抱き寢の顔を見るさへいとゞ猶「歩みつかれておはしける「母樣あぶなふござります必ず怪我して下さるなや「ヲ、今若よふいふてたもつた、紫竹の里を出しより便りに思ふは其方斗、思へば昨日は昔にて鏡か石に蔭たのみ三人の子供はもうけても、御運掘き源の此行末必ず平家の侍に見咎められぬやうにして給やとこふ言內伏見へも聞はない二人共辛抱して歩いて給や「言ど乙若ぐわんぜなく、もう歩くのはいやぢやぢや「ア、是はまたどうした物、今にねんねをさす程に聞わけて歩くものぢや夫見や向ふが雪明りで鳥羽の畷や小幡の里「やがて小幡の山越えて馬はあれども徒はだし、君を思へば行ぞとよ歩く者には花紅葉花の手車手を引て「歩みかかれば雪風に「笠をとられじ突杖の「雪に淚も玉鉾の、其道もせをゆきなやむ、ヤア夜中といひ怪しい女幼な子を大勢つれ此關を越す氣であらふが比所は小幡の關「義朝が殘黨詮議のため宗淸殿の嚴しいかためサア有樣に名乘つて通れ「サアわはゝ元都の市人、伏見の邊へ知べ有て尋る內にこの大雪、二人の子供にみちはかゆかず思はずも日を暮したり、どうぞ情にこの關を「ヤアそうぬかす程猶怪しいサア女と立上れば「ヤレ待て兩人聞けば子供をつれた女とな源氏の餘類に似合の註文身が直々にたゞしてくれう「何か思案の宗淸が氷る足駄に善惡の邪正の道をふみ分て關のとぼその庭傳ひ「いやしからざる上の供をもつれず只一人、見れば幼ない子供をつれ、ハテあでやかなきつとながめて居たりしが……

學藝

滿洲文話會の社會性 (一)

◇……岡　二郎

先達、青木實氏から滿日紙上で提出された所見は、情熱の罩つた快いものであた。文話會を對作家的角度から考察するなら、私達の頼るべき定見であるとも思はれた。

然し私には、文話會の仕事がそれらの個人主義的な社會性を帶びることの外に、いや文話會の、積極的に動かねばならない方向として、全體主義的な社會性を顧ふことが、より重要な本來の使命かと思ふ。

同會の趣旨を擴充するならば、會員を中心とした所謂ペンの人々の、自衞又は權益の強化機關でなければならない私達はそこに內地の文藝懇話會などの目的としてゐた類のものを見る。そして內地にあつては、それ丈の活動範圍を維持すればいゝのだつた。

然し私達滿洲文話會の仕事は、寧ろそれ以外の點に、即ち對大衆的社會性を自覺するにある。私達の文話會は、私達相互が文藝乃至文化の愛好者であると共に、社會一般が又左樣でありたいのだ、として努めねばならないのだ。一面私達自身の質的向上を目指し乍ら、同時にその途上で、文藝乃至文化の對大衆的運動を續けねばならないのが、建設期にある滿洲の現狀でもある。

この種の狀勢下にある私達は積極的か消極的か二つの方向の中何れか一つを選ばねばならないのだ。即ちヘーゲルの譬喩を借りれば、未だ水泳術を知らない時、徒らにその泳法の理論を机上で探り、泳法の學習をそこに求めるか、自ら大膽に水中へ飛込んで、溺れながらに泳法を體得し、併せて之を理論的に洗練して行くか、現代の私達は、決して可能性の觀念論に閉籠りはしないから、ヘーゲルと共に後者の道を選ぶであらう。私達自身で溺れながらに、いや其の溺れることによつて泳法を琢磨して行くのである。滿洲に於ける文藝乃至文化の愛好を念ずる私達は、滿洲の特殊事情を意識してこの種の自覺から出發せねばならない。(未完)

秋風調

草池澄雄

誰が爲にかく化粧せむ
誰が爲に學び事せむ
しぐれ降る君が窓邊に
唯一つしろがねのくし
しらしらとしぶきに濡れて
ゆめのごと去にし日の
遙かなる想ひ出ゆらぎ
あるじなきこやのしゞまを
こゝろなくきわ立つも悲し
きみが爲かくは歎けど
きみがためかくは泣けとよ
うつろなるけふのうれひを
あるじなき窓のかたへに
何日の時か吾が試みん
りんどうの散りもえやらで
たゆたげに殘れるも秋
氷雨ふるきみが窓
心なくしぐるゝも悲し
咲子てふ人の戀しき
咲子てふきみの美し
その頃のあらうけき日よ
何時とてかきみと步べる
犬たでの咲きたる中に
赤き緖の木履にしぐる
秋雨の訪ひ聞きつゝ
あるじなき窓の戀しく
あれ寢やらで泣きぬるも悲し
雨ふらばなぜか悲しも
雨ふらばなぜかしたはし
君知るやかくてうれひを
君が御名こゝろに呼びつ
なみだして窓にもたるゝ
十九のあがうつろひと
君見ずやかくて今宵を
うつろなるふしどに泣きつ
ひとよさのきみがえまひに
泪して去年をしのぶ
十九のあがうつろひを

第三回 土星會展評 (一)

吉野太一

此の會の全體を通じての雰圍氣はとりたてた特長をもつてゐる譯では無い。新しい土地に對するイデオロギッシュな同人の集合と云ふ譯でもない。私は唯青年の集團である事に多くの關心と要求を持ちたい此の新しい土地の此の青年達の集團は將來に對して自他共に責任と抱負をもつべきであると想ふ。

この青年達は、何時までも日本內地からの、出稼せぎの賣繪展や書壇出張展によつて此の土地によるべき藝術の發芽が妨げられるのを佇觀してゐてはいけない。自からの生活の此の新しい土地の藝術の責任者たるべき抱負をもつべきである。

同時にこれらの集團は、市民のものたるべきそして藝術は藝術家のものだけではなく、人民のものである。—といふ自覺をお互にもつべきである

私はそれ故、強いて、この若い人々に暴言を綴りたい。前もつて乞御許し

▲李平和　唯ならぬ眞摯な努力は大いに買へるが同時に非常な混亂に見舞はれてゐることは悲しい感であつた。

〃書室〃　彼の書想のもつとも混亂した作品。此の人にあつては斯の如く自からを縛らむとするモチーフの誘惑を拒絕することが自からを正導するものであると想ふ。畫中の書の美しさとなだらかさを忘れてはいけない。

▲佐竹禹南　酷ではあるかもしれぬが、例へて云へば流行的にも古いイーヂーさとあへて攻擊したい。

〃夕べ〃　此の演曲からはモチーフに充された散文的な要素は充分にうかゞはれるが、此の人を覆つてゐる或種のアカデミズムを脫ぎ棄てゝ畫因にもつと赤裸々な清純さで對してもらひたかつた。三點とも日本での作品であることの自由を制する氣持は無いが、もつと己れ暮しの地に對して眼を向けて異れる標準ふことは出來る筈。

▲太田洋愛　此の人のものは何に困ぢてゐるのだらうかといふ呆然とした感じである。そしてモチーフをもたない如くである。それは觀た後で三點とも佳くない意味でみな同じもの丶樣な感を與へることにも現はれてゐると想ふだが、此れは此れでもよいからせめてもつと技法上の基礎的たものに對する追究に熱意をもつて欲しい。眞摯な熱意は自然に確然とした己れを作り出してくれるものである。

バクゲキ

舊態依然 —「キング」の時代小說—

「キング」九月號所載、讀切りの舊時代小說數篇を通讀した。

押しなべて、なんといふだらしなさか、新鮮味ある何らの點も無い。表現技術の一應の達成はあつても、指しべき對象の重點が講談や何かで旣に出來上つてゐる範圍に固定してゐては現代の讀者に訴へる力は毫も無いのである。

新人の作家たちよ、何故もう少し野心を盛らないのか。いくら「キング」といふ雜誌であるからと言つて妥協することはあるまい。百人の讀者のうちには、心ある者も相當ゐるであらう。諸君のうちから直木賞の受賞者ぐらゐ當然出ていいではないか——さう思つたことである　(T・T・B)

學藝消息

滿洲國に於ける文藝分野の活動については是れまで國家としては何等の對策が講ぜられず局部的には社會教育機關を通じて一部民衆に及ぶのみでまことに寥々たる現狀に鑑み滿日文化協會では民生部社會司とタイアップして文藝の普遍的興隆運動への第一步として國都各關係方面のエキスパートによる文藝懇談會を開催し美術、文學、音樂、演藝、民衆娛樂研究等文藝各部門に亘つて忌憚なき批判と意見の交換を行ひ、滿洲國文藝の健全なる發達の路を開拓することとなつたが、同懇談會は來る八日午後二時から文化協會にてまづ美術懇談會を開き爾後は每週土曜日開催するもので各部門に於ける懇談內容は次の如きものである

△美術　(イ)訪日宣詔美術展覽會に對する批判と將來に對する意見に關する事項　(ロ)我國に於ける美術の動向に關する事項　(ハ)我國に於ける美術の振興對策に關する事項　(ニ)各種美術展覽會に關する事項

△文學　(イ)我國文學の動向に關する事項　(ロ)我國文學の振興對策に關する事項

△音樂　(イ)我國音樂の動向に關する事項　(ロ)我國音樂の振興對策及び改善すべきものあらば其改善策に關する事項　(ハ)レコードに關する事項　(ニ)作曲に關する事項

△演劇　(イ)我國演藝の振興對策及び改善すべきものあらば其改善に關する事項　(ロ)ラヂオドラマに關する事項　(ハ)我國に於ける演出者俳優に關する事項　(ニ)其他演藝一般に關する事項

△民衆娛樂研究　(イ)我國傳統娛樂の改善振興に關する事項　(ロ)新興娛樂の供給に關する事項　(ハ)農村娛樂生活の確立に關する件　(ニ)民衆娛樂放送に關する事項

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△金融經濟月報(七月)　概觀、金融、特産、商品、物價、地方概況、海外經濟情勢の各項に亘つて六月中の狀況を總括、更に雜錄、關係法令、重要日誌、統計を載せ別册として「滿洲物價勞銀調」「全滿當舖業態概況」を添へてゐる(滿洲中央銀行調査課)

△北支那(九月號)　「目壞から自滅へ急ぐ國民政府」を卷頭に、「北支事變の經濟」「高凌蔚委員長と語る」「天津莊談」「北支經濟資料」等、北支現地に於ける生彩ある記事を盛つて現地の雜誌としての强味を現はしてゐる(天津日本租界松島街二、北支那社三十仙)

△電業(九月號)　高井恒則「十年後の支那」高橋忠一「北支電氣事業概說」「某名士に聞く滿洲事變回顧談」天野長次郎「奉天鐵西工業地區の概況」その他電業を中心とする見るべき記事多し(新京大同大街豐樂路四〇一、電業社員俱樂部、二十錢)

△國內石油資源開發に關する應急對策

△國內石油資源開發に關する建白書について　右兩パンフレット、次々に石油問題について著作を出す長谷川尙一氏によるものこの問題に關心を持つもの一讀すべきものであらう(東京市麴町區內幸町一ノ五、中西貞一、非賣品)

△東亞商工經濟(九月號)　調査に「日支事變の大連經濟界に及ぼせる影響」「最近十年間の滿支貿易」をはじめその他經濟時事欄、時の經濟動向を摘錄してゐる(大連市敷島町八二、大連商工會議所、五十錢)

△新京圖書館月報(一三號)　大野澤錄郞「中國近代公共圖書館の創始」その他(新京中央通三〇、新京圖書館)

秋祭りの諸行事決る

時局に鑑みて御輿渡御餘興は遠慮し

祭典・街飾りは從前通り

新京神社秋季大祭執行に關する役員會議は六日午後三時から滿鐵新京支社大會議室で開催、柴崎總領事代理岩坂鄕軍聯合分會副長、軍關係、田中居留民會長、各區長、各學校長、其他各機關代表等出席、小松氏子總代長代理早川區長の挨拶ありて植村神職より別項の如く宵宮祭並に大祭時刻及び參拜時刻を說明午後四時散會したが、本年は時局柄各種の餘興を全廢し、市中の飾付は各町內會に於て高張提灯を揭げ幟を立てること一般各戶に於て獻燈を揭げることは例年と變りないが神輿の渡御は行はず、各町內會の神輿も神社前に安置し町內を練り步くことを中止することに決定した、大祭次第及び團體參拜時刻は左の如くである

大祭宵宮祭式次第

（九月十四日午後六時）

時刻、齋主以下所定の座に着く

先、修祓

次、齋主御扉を開き畢つて側に候す、此間警蹕奏樂

次、副齋主以下神饌を供す此間奏樂

次、齋主祝詞を奏す

次、齋主玉串を奉りて拜禮

次、副齋主以下列拜

次、氏子總代長、並參列員一同、玉串を奉りて拜禮

次、副齋主以下神饌を撤す此間奏樂

次、齋主御扉を閉ぢ畢りて本座に復す　此間警蹕奏樂

次、各退下

次、直會（社務所にて）

大祭本祭式次第

（九月十五日午前九時）

時刻、齋主以下所定の座に着く、總代役員、參列員も亦同じ

次、幣帛供進使參進、是より先手水の儀あり

次、修祓

次、幣帛供進使祓所に着く

次、幣帛供進使所定の座に着く

次、齋主諸事辨備せる由を幣帛供進使に申す

次、齋主御扉を開き畢りて側に候す、此間警蹕奏樂

次、副祭主以下神饌を供す、此間奏樂

次、齋主祝詞を奏す

次、幣帛供進使隨員御幣物を辛櫃より出し假に案上に置く

次、齋主御幣物を奉る

次、幣帛供進使祝詞を奏す

次、幣帛供進使玉串を奉りて拜禮、玉串は隨員之を附す、隨員列拜

次、齋主玉串を奉りて拜禮、

次、副齋主以下列拜

次、氏子總代長並に參列員一同玉串を奉りて拜禮

次、副齋主以下御幣物を撤す、副齋主以下神饌を撤す、此間奏樂

次、齋主御扉を閉ぢ畢りて本座に復す　此間警蹕奏樂

次、齋主祭儀畢れる由を幣帛供進使に申す

次、各退下

次、直會（社務所にて）

大祭參拜係各區時間配當表

日時	時間	區
九月十四日宵宮祭		
△午後五時	六時	三笠區
同六時	七時	日本橋區
同七時	八時	朝日區
同八時	九時	居留民會
同九時	十時	白菊區
同十時	十一時	吉野區
同十一時	十二時	入船區
△九月十五日本祭		
午前六時	七時	鐵北區
同七時	八時	西廣場區
同八時	九時	富士區
同九時	十時	祝區
同十時	十一時	中央區
同十一時	十二時	入船區
午後零時	一時	吉野區
同一時	二時	白菊區
同二時	三時	居留民會
同三時	四時	鐵北區
同四時	五時	朝日區
同五時	六時	三笠區
同六時	七時	日本橋區
同七時	八時	西廣場區
同八時	九時	富士區
同九時	十時	祝區
同十時	十一時	中央區

各團体參拜時刻

1、軍隊、在鄕軍人分會　午前九時四十分

2、警察署　同　九時五十分

3、商業學校　同九時五十五分

4、中學校　同十時

5、靑年學校　同十時五分

6、敷島高等女學校　同十時十分

7、錦ヶ丘高等女學校　同十時十五分

8、室町小學校　同十時二十分

9、西廣場小學校　同十時二十五分

10、白菊小學校　同十時三十分

11、八島小學校　同十時三十五分

12、櫻木小學校　同十時四十分

13、三笠小學校　同十時四十五分

14、順天小學校　同十時五十分

15、普通學校　同十時五十五分

16、公學校　同十一時

17、南嶺敎員講習所　午後十一時五分

18、兩級中學校　同十一時十分

19、三中井百貨店　同十一時十五分

神殿の手入れや

德行者表彰等異議なく

六日の氏子總代會議

新京神社氏子總代會議は六日午後二時から滿鐵支社會議室で開催、氏子總代（各區長）田中居留民會長等出席植村神職より昭和十二年度收支豫算更正の件に就き說明をなし異議なく原案を可決、次で杓子奉納の件、神殿屋根銅板葺替への件（銅板一板一圓として參拜者から任意寄附をうける）神社參拜唱歌レコードを社より市內各學校に寄附の件をいづれも採擇、奇特滿洲國人馬逢春表彰の件は異議なく贊成して三時閉會した

東洋一ホテル新築

オリムピック迄に竣工

大同廣場に總局が

新京ヤマトホテルの增改築問題は鐵道總局に於て數回に亘り設計々劃を立てゝゐたが總局では滿洲の發展に伴ひ且つ來る一九四〇年の東京オリムピックに備へるため今までの增築案を放棄し新京大同公園前の社有地に工費五百萬圓を投じ內容外觀東洋一を誇る一大ホテルを新築することに決定した、工事は明年解氷期を俟つて着手しオリムピックまでに完成する豫定である

改札口で紛失

百卅圓入手提

特別市興安大路四百二十二號菊地ビル內新川吹雄氏方同居人酒匂テル子さん（二三）は六日午後五時釜山ゆき列車で鄕里福岡にかへるため新京驛にいたり、一、二等改札口で驛員と談話中百三十餘圓入り褐色革製ハンドバックを改札口の木棚上に置き忘れてホームに出で、思ひついて改札口に戾つて見たが無くなつてゐたので係員に遺失屆出て同列車で出發した

業者大會も一蹴

狼狽した麻雀俱樂部に峻烈

當局斷乎廓淸を圖る

新京署では麻雀賭博者を嚴罰に處してゐるがこの峻烈な取締りに狼狽した業者は對策のため當局に陳情をなすべく六日午後一時記念公會堂で業者大會の開催方を願ひ出た、同署保安係ではこの願出を斷乎拒否して大會を差止めたが右につき保安係では左の如く語つてゐる

『當局の取締りについて麻雀業者が大會を開くことは意味をなさないので差止めた業者には嚴として命令條項を言ひ渡してゐる、其規則を遵奉服從すれば問題は起らない筈である、自己の非をさとらず陳情などもつての外だ、當局の方針は確固不變である、今後も不正業者はどしどし摘發、飽くまで業界の廓淸を圖る考へでゐる』

檢番惱みを脫す

具体案を前に最後的打合せ

昨日料理店組合總會

新京料理店組合ではかねて問題となつてゐた新京檢番設置に就て數度に亘り新京署及幹部役員によつて協議を重ねて來たが先頃これが具體案の起草を見たので組合は六日午後三時から三笠町三丁目曾我邸に臨時總會を開催、草案を議題として組合の最後的態度を協議した、これにより長期に亘つて持ち越された檢番問題も近く實現し表面に浮び出るものと見られてゐる

日滿社會事業聯合委員會

日滿社會事業聯合委員會は八日午前十時から新京日滿軍人會館で開催される

滿鐵社員も草刈り

六日午後四時から三百名にて

滿洲國總務廳の馬糧草刈は各方面にショックを與へてゐるが六日午後四時からは滿鐵新京支社員三百餘名が山口支社長の指揮で宮廷府造營豫定地の草刈り作業を行つた

蓬原の獵奇心中 片割れ遂に捕る

幾多謎を包む伊通河女屍体

事件發生後五十日

蓬原の獵奇的片割れ心中事件として國都に時ならぬセンセイションを捲起した去る七月十九日早曉情婦特別市五馬路料理店三杉樓抱酌婦貢こと諸山タケノ（二一）を人無き草原寬城子外伊通河畔に連れ出して心中を圖り情婦タケノに服毒せしめ苦悶する女の胸部を短刀用の刄物をもつて一刺しで死に到らしめた心中の片割れ靑木祉良（二九）は女の純情を裏切り死骸を蓬の中に埋め殘して再び娑婆に舞戾り以來領事館警察署の全滿に亘る手配と血眼の搜査網をくゞり拔けては數度に亘り忽然と影の如く附屬地內に姿を現はしてゐたが、巧妙に地下に潜つて逮捕に到らなかつたところ事件發生以來約五十日ぶりの六日奉天警察署より靑木を逮捕したとの快報が領警署にもたらされ近く身柄は送致されることゝなつた、尙靑木は特別市北安路某社の三千圓竊盜被疑者として有力視されてゐるもので靑木の逮捕によつて幾多の謎を包んだ事件は一切を明白にされるもので頗る注目されてゐる

滿軍警に慰問金

日本國民の熱誠に張總理感謝

關東軍參謀長代理高級副官小林大佐は六日午前十時國務院を訪問、張總理と會見し、大每東日募集の國防獻金中金十萬圓を關東軍を通じ滿洲國軍並びに警察隊に對する慰問金として手交し更に張總理はこれを于軍政部大臣へ傳達したがこれに對し張國務總理は左の如く感謝の言葉を述べた

大每、東日が本年六月以來募集中の在滿支皇軍慰問金中より特に金十萬圓を割き滿洲國軍警慰問費として關東軍を經て本日私の許に送達せられました日本國民の赤誠と同社の御好意に對しては獨り私のみならずわが軍警當局の感謝に堪へぬところであります、日本の凡ゆる好意と苦心とを省みず支那が今回の事變を起しましたことは寔に吾人の遺憾とするところであります日本軍將士の勇武に對しましては東亞和平の建前からも絕大なる感謝を捧げてゐる次第であります

手交すると共にこれを機會にさらに全軍警に日滿不可分關係を徹底せしめ一層現下の時勢に奮勵せしむる決心であります（寫眞は獻金を受ける張總理）

日本國軍後援に

責任の愈よ重大を痛感

慰問金に于治安部大臣感謝文

滿洲國軍警に對する慰問金十萬圓は六日朝關東軍司令部より張國務總理に傳達、張總理は直ちにこれを于治安部大臣に傳達したが、于治安部大臣は盟邦日本國民の日滿一如の信念の現れに痛く感激、各新聞通信を通じて左の如き感謝文を日本國民に寄せた

本日國務院において關東軍を通じ大每、東日の募集にかゝる日本全國民よりの慰問金のうちわが滿洲國軍警に對する分として金十萬圓を受領したが、寔に感激に堪へない、支那事變の勃發とゝもにわが軍警は日滿共同防衛の護定書に基き日本軍に呼應し敢然暴支膺懲に當る事となり、部隊を國境方面に出動せしめ今やその一部は勇躍國境を越て支那に進出し目下殘敵の掃蕩に任じてゐる次第でありますこれは日滿一德一心の大精神から申せば當然のことでありますが、他方又日滿國民銃後の絕大なる支援の然らしむるところで、今回の慰問金は實に日本國民のわが滿洲國軍警に對する銃後の熱誠でありまして第一線に活躍中のわが國軍警はこの御聲援を心の糧、魂の泉と致しまして日滿一德一心の精神に燃え勇戰力鬪するものと信じて疑ひません、吾々は日本國民に對し厚く御禮を申述ぶると共にいよいよ責任の重大なるを痛感して勇奮邁進以て全日本國民の熱誠なる御期待に添はんことを期して居ります

更に奧地を慰問

大谷光照師一行哈市へ

新京における皇軍慰問、戰跡弔問の日程を終へた眞宗本願寺法主大谷光照師は七日午前八時二十分新京驛發列車でハルビンに向ひ出發、ハルビン、佳木斯、牡丹江その他北滿を左の日程で皇軍、移民邦人の慰問をなす豫定である

けふからの旅程

▲七日午前八時二十分發列車で哈市へ▲八日飛行機で佳木斯へ往復▲九日ハルビン發列車で牡丹江へ▲十日ハルビン滯在▲十二日ハルビン發列車でチ、ハルへ▲十三日チチハル滯在▲十四日奉天へ▲十六日大連へ

掉尾を飾る野球

本社主催準硬式野球大會

十日公會堂で主將會議

本社主催準硬式野球大會は本年度球界の最後を飾つて來る十二日より西公園球場に於て華々しく擧行されるが準硬球大會は全滿最初のことゝて多大の興味がかけられ人氣を呼んで居る、本大會發表と同時に各所で本ボールの練習を開始し既に申し込みも十餘組に達し盛況であるが愈よ本七日を以て申し込みを締切るから希望チームは遲れぬやう三協運動具店まで申し込まれ度いなほ十日午後五時より公會堂に於て監督主將會議を開き組合せ抽籤を行ひ試合細則決定するにつき各チームの監督並に主將は正五時迄に參集され度い

慰問の一端にと

バス從業員や管理局員から

六日本社寄託獻金

日支事變突發以來、皇軍前線に於ける血戰肉彈戰は相つぎ銃後の國民は等く之が擧國一致熱誠を披瀝し膺懲支那軍に對する我將兵の勞苦に報いんが爲め各種各樣の方法を以つて慰問しつゝある折柄六日本社に寄託した獻金二口

▲六日午後本社へこれは些少ですが皇軍慰問の一端としていから可然と金百五十四圓を新京郵政管理局から屆けて來た、此は局長范培忠氏外職員一同から醵出したものである

▲新京交通會社遊覽バス從業員一同を代表して來社した高野花枝さんと廣瀨淸治氏から金十五圓を、皇軍慰恤金にしたいから手續きをお願ひするとのことであつた、何でも五日の日曜日に、さる家族慰安會の人々を乘せて遊覽個所を案內した際、心づけに貰つた金一封、これを從業員で分配するより皇軍慰問の微意を表したいとの總意によるものであつた

井野次長歸省

最高法院次長井野英一氏は六日午後五時三十五分發列車で家族同伴で私用のため約三週間の豫定で東京に歸省した

本多惠隆師來社

眞宗本願寺大谷法主隨行員長本多惠隆師、同隨行員岡部宗城師は六日午後西本願寺事務員同道で挨拶のため來社した

芳野五郞氏逝く

日本橋通八〇芳野五郞氏は大腸カタルにて永らく療養中であつたが六日午前十一時死去享年六十歲告別式は七日午後五時神式に依り祝町太子堂にて執行される

フレンソーダ

滿鐵奉天地事所長から新京特別市副市長の椅子を占めた關屋悌藏氏の最近の張り切りやうは大したものだ▼朝は八時から夕五時頃まで恪勤精勵仕事が面白くてたまらぬといつた形▲或る機會を捉へて新京の感じはどうかと感想を叩くと『思つたより住み良いね、これぢやすぐ好きになりそうだよだがどうも藝者のサービスは感心せんね』とはなかなかどうして隅に置けない

天氣と氣溫

けふの天氣　北西の風晴

日の出　前六時七分

日の入　後七時七分

月の出　前七時二五分

月の入　後七時一五分

きのふ氣溫　最高二二度五　最低一三度〇

タイピスト採用廣告

菅沼式日文タイピストを左記に依り若干名採用す

一、資格　高等女學校又は之と同等學校卒業者にして打字に熟練し身體强健なる者

一、銓衡　九月十日午前九時本部人事科にて

右希望者は來る九日迄に自筆履歷書を左記に送付の上銓衡日に出頭せられたし

產業部大臣官房人事科

新京區公示第十七號

秋期淸潔方法施行ニ關シ新京警察署長ヨリ告示アリタルニ付新京警察署管內居住者ハ左記標準ニ據リ檢査日迄ニ淸潔方法ヲ施行シ警察官吏ノ檢査ヲ受ケラルヘシ但シ指定期日迄ニ施行シ難キ者ハ其ノ理由ヲ具シ新京警察署ノ承認ヲ受ケラルヘシ

昭和十二年九月二日

南滿洲鐵道株式會社新京支社地方課長事務取扱 管野誠

記

淸潔方法施行標準

一、施行日ハ晴天ノ日ヲ擇フコト

二、住宅及物置等ニ在ル家具其ノ他移動シ得ヘキ物品ハ全部屋外交通ノ妨ケトナラサル場所ニ搬出シ家屋內外ヲ掃除スルコト

三、倉庫內ニ格納セル多量ノ物品ハ之ヲ屋外ニ搬出スルニ及ハサルモ積戶ヲ開放シ通氣射光ヲ計リ掃除スル事

四、天井又ハ床下ニシテ掃除シ得ヘキ箇所ハ掃除スル事

五、疊、敷物、寢具、衣類等ハ三時間以上（成ルヘク長時間）日光ニ晒スコト但シ日光ノ爲退色ノ虞アルモノハ室內ニ於テ乾燥セシムルモ妨ケナシ

六、水道栓、井戶、日常食料品置場、厨房、浴室、煙突穴倉、地下室、塵芥箱、下水溜、厠圊及其ノ附近ハ特ニ丁寧ニ掃除シ其ノ破損ノ部分ハ之ヲ修理スルコト

七、家屋、物置等ヲ掃除シタル後ハ通風射光ヲ計ルコト

八、邸宅內ニシテ濕潤ノ場所ハ土砂、石炭灰又ハ木炭ヲ敷キ其ノ乾燥ヲ計ルコト

九、塵芥箱其ノ他汚物ハ容器ニ納メ若ハ散亂セサル樣適當ナル場所ニ集積シ置キ搬出ニ便スルコト

一〇、劇場其ノ他興行場、工場、旅館、料理店、飲食店寄宿舍、下宿、理髮店、魚菜市場ノ如キ常ニ公衆ノ出入スル場所及業態又ハ位置ノ關係上不潔ニ陷リ易キ場所ハ特ニ注意シ丁寧ニ掃除スルコト

一一、市街地ニ於テ塵芥箱ヲ設備セサルモノハ之ヲ設備スルコト

一二、前各號ノ外警察官吏ノ特ニ指示シタル事項ハ嚴守スルコト

淸潔方法檢査日割

月日	區域
九月六日	北一條通、北六條通、北十條通、東七條通各警察官派出所管內
九月七日	東五條通（石碑嶺炭坑附屬地ヲ含ム）大和通、富士町各警察官派出所管內
九月八日	朝日通、東二條通各警察官派出所管內
九月九日	日本橋通、新京驛各警察官派出所管內
九月一〇日	西公園、八島通、西二條通各警察官派出所管內
九月一一日	和泉町、白菊町、桔梗町各警察官派出所管內

地畝管理局發行左記租據紛失致したるに付茲に失效を聲明す

記

一、三岔河宅地八〇號　大同元年分

二、三岔河宅地八一號　大同二年分

三、蔡家溝宅地二〇號　民國七年分

四、蔡家溝宅地二二號　民國七年分

康德四年九月七日

千葉修一

夫芳野五郞儀豫而病氣療養中の處養生不相叶六日午前十一時死去仕候間此段生前辱知諸彥に謹告候也

追而告別式は七日午後五時途中行列を廢し神式に依り祝町太子堂に於て相營み可申候

昭和十二年九月七日

妻　芳野たか

男　芳野正典

親戚總代　銅野三忠

友人總代　宇野卓爾

町內會代表　小野常吉

茨城縣人會代表　小泉三郞

義人長七郎

(禁上演映畫化) 中川雨之助
竹枝一郎畫

(三十五)

寶藏の賊 (五)

彼は切支丹の信徒であつたのです。

その上彼は、島原騷動の落武者であつたのです。

彼の父は、大江源右衛門といつて、もと小西攝津守行長の家來でしたが、主家の亡びたのち、源右衛門は肥前島原に住居して、同志の者と、ひそかに切支丹の宗旨に歸依して居りました。

去年すなはち寛永十四年、同地方の切支丹宗徒等が天草四郎時貞を總大將に仰いで、原の城に立てこもり所謂切支丹騷動島原一揆を惹き起し、十二萬四千人といふ幕府追討の大軍を引うけ、華々しい合戰に及んだが、衆寡敵せず、遂に敗北におよび、大將四郎時貞は討たれ、そのほか重立つたる面々も悉く討死しました。

軍平の父源右衛門も、原の城三の曲輪の大將として、蘆塚忠右衛門、大塚四郎兵衛、その他と共に三千五百の味方を指揮して戰つたが、今年二月二十七日の城攻に遭つて遂に華々しく討死を遂げました。

軍平もまた父と俱に戰つて居りましたが、味方敗北と見るや、源右衛門は我子を顧みて、

「やよ軍平、汝はこゝを脱れ敵の重圍をくゞつて命を全うし、われわれ同志の恨みを晴らし、あくまでも「天主」のために働けよ」

と言ひ捨てゝ、群がる敵の只中へ、眞一文字に躍り込み、敢なき最期を遂げました。

痛恨の恨みをのんだ軍平は、みすみす父の討死を見棄てゝ、そのまゝ十重廿重と圍む、幕府の敵陣を潜り抜け、それから夜を日に繼いでの旅。目指すところは將軍の膝元江戸の土地でありました。

その江戸には、舊の家來森庄兵衛の娘がゐる。軍平の落つく先はその娘の家でした。その娘といふのが絹糸のお銀です。」

これぞ、お銀の素性も、ほぼ明かになりました。いまでこそ、あんな莫連女になつてゐるが、もとは由緒ある武士の娘です。」

そして軍平は、お銀に取つては舊主人の若旦那で、兩人はつまり主從の間柄なのでした。

神田明神下のお銀の家の界隈の人々が、軍平をヤレ御銀の情夫だ亭主だなぞといつたのは、みんな間違つた噂なのでした。

その軍平が、いま高崎へ乘込んで來て將軍のお墨付を狙ふといふのは、それを長七郎殿に差上げ、家光將軍に對して復讐心を起させ、それを利用し、長七郎を盟主に仰ぎ、再び切支丹の軍を起して大いに幕府に向つて弓を引かう、といふ魂膽を持つてゐるからでありました。

そして、もう一つ、彼の胸に秘めてある、大きな企てがあります、それは三代將軍家光公の暗殺計畫なのでした。

ひとり將軍ばかりではありません、當時寄手の大將であつた老中松平伊豆守をも、敵と狙つて居るのです。

伊豆守が今をときめく凱旋將軍として輝々しく戰功を讃へられてゐるその裏面には、原の城の土と消えた父を始め、味方の怨みがこもつてゐることを思ふと、軍平の復讐心は、火のやうに燃上るのでありました。

軍平が高崎に乘込んでから、可なりの日數がたつてしまつた。氣が揉めて仕様はないけれど、なにしろ、御城內の寶藏から、お墨付を盗み出さうといふのだから、さう容易くは行きません。

禁制の切支丹の信者で、—島原一揆の落武者で、おまけに將軍の命を狙ふといふのだから、これほど物騒きはまる人物はありません。

從つて、軍平の方でも少しも油斷はありません。